

目次

発刊にあたって

I. 八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館 本館	
1. 沿革	1
2. 施設概要	1
3. 開館関連事業	2
4. 事業概要	3
(1) 常設展示 (2) 企画展示 (3) 埋蔵文化財発掘調査 (4) 是川遺跡の整備活用 (5) 教育普及 (6) 資料収蔵 (7) 調査研究 (8) 広報・情報発信 (9) ミュージアムショップ・喫茶コーナー	
II. 八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館 分館(八戸市縄文学習館)	
1. 沿革	11
2. 施設概要	11
3. 事業概要① (平成23年4月～5月)	12
4. 事業概要② (平成23年7月10日～)	14
III. 管理運営概要	
1. 日記抄	15
2. 来館者利用状況	18
3. 八戸市内小中学校利用状況	18
4. 資料利用状況	18
5. 予算概要	21
IV. 組織・関係団体	
1. 組織及び職員構成	22
2. 八戸縄文保存協会	22
3. 是川文化財愛護会	22
4. 縄文是川ボランティア	23
利用案内	24

発刊にあたって

八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館は、是川遺跡や風張1遺跡を通し、東北地方の優れた縄文文化を発信するため、平成23年7月10日に開館しました。

当館は、八戸市内の埋蔵文化財調査事業や展示・体験学習等の教育普及事業、調査研究事業に積極的に取り組んでおります。この度、当館の事業内容や管理運営内容等を報告するため、年報を刊行いたしました。

当館は開館以来、市民の皆様をはじめとし、国内外から多数の来館者にご利用いただくことができました。

教育普及事業では、開館記念行事として講演会「是川遺跡の現在と未来」を実施するとともに、企画展「八戸の埋蔵文化財」、特別展「縄文至宝展」を開催し、多くの来館者から好評を得ました。

埋蔵文化財調査事業では、八戸城跡、田代遺跡をはじめ47件の発掘調査を実施しました。これらの調査成果は「八戸市遺跡調査報告会」を開催して速報するとともに、埋蔵文化財調査報告書を作成し、公表しております。

調査研究事業では、東京大学新領域創成科学研究科環境史研究室と連携して3ヶ年に渡る共同研究を計画し、その初年度の成果を考古学講座において報告いたしました。またこの成果は、当館学芸員の個別研究とともに研究紀要へ収録し、発信いたしました。

今後も、市民をはじめ多くの皆様に親しまれる施設を目指し、充実した事業を展開するため、職員一同、館の運営により一層努めてまいります。

最後になりましたが、当館の事業に対し、平素よりご理解、ご支援を賜っております、関係各位の皆様には厚く感謝を申し上げますとともに、今後も更なるご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年8月
八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館

I. 八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館 本館

1. 沿革

是川縄文館は是川遺跡、風張1遺跡等の発掘成果をふまえた展示や体験交流等を通して、市民や来館者が地域文化の魅力を再発見し、誇りや愛着が感じられる郷土づくりに資するとともに、埋蔵文化財センターとして市内の遺跡から出土した埋蔵文化財の積極的な公開・活用、適切な保存管理に努め、埋蔵文化財保護の重要性を伝えるための施設である。

- 平成 9 年 (1997) : 「是川縄文の里整備基本構想」を策定。
- 平成 15 年 (2003) : 「是川縄文の里整備検討委員会」を設置し、基本構想見直し。
- 平成 16 年 (2004) : 「是川縄文の里整備検討委員会」が (仮称) 是川縄文博物館の建設に向けて建設計画等を検討。
- 平成 17 年 (2005) : (仮称) 是川縄文博物館の建設用地取得。
- 平成 18 年 (2006) : 施設の機能にあわせ、(仮称) 是川縄文館と改める。プロポーザル方式で設計業者を選定し、基本設計を実施。
- 平成 19 年 (2007) : 実施設計を実施。
- 平成 20 年 (2008) : 造成工事を実施し、建設工事に着手。
- 平成 21 年 (2009) : 建設工事及び展示設備Ⅰ期工事を実施。
- 平成 22 年 (2010) : 展示設備Ⅱ期工事及び外構・駐車場工事を実施。
- 平成 23 年 (2011) : 7 月 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館開館 (7 月 10 日)。
 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館条例及び施行規則、組織等規則施行。
 開館記念企画展「八戸の埋蔵文化財」開催 (7 月 10 日～9 月 25 日)。
 開館記念講演会「是川遺跡の現在と未来」開催 (7 月 17 日)。
 8 月 来館者 1 万人達成。
 10 月 開館記念特別展「縄文至宝展」開催 (10 月 15 日～11 月 13 日)。

2. 施設概要

(1) 施設の名称と位置

○名称：八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館 ○住所：青森県八戸市大字是川字横山 1

(2) 施設の概要

- 構造：1 階鉄筋コンクリート造＋2 階鉄骨造
- 敷地面積：13,752.55 m² ○建築面積：2,602.98 m² ○延床面積：4,593.82 m²
- 建築基本・実施設計：(株)岡設計 ○展示基本・実施設計及び施工：(株)丹青社

(3) 主要施設・面積 ※床面積 1階:2,408.19 m² 2階:2,185.63 m²

階	室名	面積	階	室名	面積	階	室名	面積
1F	体験交流室	142.88 m ²	1F	館長室 (応接室)	36.87 m ²	2F	図書閲覧コーナー	91.19 m ²
	アプローチ展示	229.53 m ²		事務室	79.12 m ²		研修室	62.12 m ²
	特別収蔵庫	139.49 m ²		会議室	51.12 m ²		調査記録保管室	39.78 m ²
	特別収蔵庫前室	22.70 m ²		スタッフルーム	46.51 m ²		書庫	133.42 m ²
	一般収蔵庫	473.06 m ²	器材庫	56.25 m ²	研究室		151.13 m ²	
	荷解場	104.62 m ²	常設展示室	503.01 m ²	出土品整理室		143.47 m ²	
	保存科学室	55.44 m ²	国宝展示室	46.60 m ²	図面整理室		87.86 m ²	
	作業室	54.90 m ²	企画展示室	178.37 m ²	写真撮影室		41.66 m ²	
	ミュージアムショップ	78.59 m ²	展示準備室	81.94 m ²	ベビーコーナー	4.48 m ²		

○駐車場：普通車 86 台、大型バス 6 台、障がい者用 3 台 ○トイレ：2 箇所 (障害者用含む、職員用除く)

(4) 建設事業費 ※総事業費：2,242,439 千円

- 基本・実施設計：87,740 千円 ○外構工事等：189,120 千円 ○本棟工事等：1,628,434 千円
- 器材庫建築工事等：50,012 千円 ○展示工事：287,133 千円

3. 開館関連事業

(1) 泉山コレクション搬出セレモニー

期日 平成23年5月21日(土) 10:00～

会場 八戸市縄文学習館敷地内

参列者 泉山カツエ 様、八戸市長、八戸縄文保存協会、縄文是川ボランティア、是川文化財愛護会、中居町内会長 様、是川地区振興会会長 様

概要 八戸市に寄贈され、是川考古館及び八戸市歴史民俗資料館で展示・収蔵していた、泉山氏の是川遺跡発掘出土品（以下、泉山コレクション）が、是川縄文館の完成を機に、50年ぶりに移されることになった。是川縄文館において、是川遺跡の価値を伝える展示の目玉として、また縄文文化の研究に、泉山コレクションがより一層寄与することを祈念して、出発式を行った。



セレモニーでのテープカット

(2) 内覧会

期日 平成23年6月27日(月)～7月3日(日)

会場 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 常設展示室

概要 開館前に、関係者を対象とした常設展示の内覧会を行った。関係者と日程は下記のとおり。

6/27 10:00～ 八戸市議会議員 14:00～ 八戸市部長級職員

6/28 15:30～ 報道関係機関

6/29 16:00～ 八戸市教育委員、八戸市教育委員会事務局次長・課長級職員

6/30 15:00～ 八戸市内小中学校教職員

7/1 10:00～ 八戸市名誉市民、是川縄文の里整備基金寄付者（～7/3）

7/2 10:00～ 八戸商工会議所、八戸観光コンベンション協会、八戸市物産協会、八戸市文化協会、旅行関係業者、八戸縄文保存協会、是川縄文館建設業者

7/3 10:00～ 是川文化財愛護会、中居町内会、田中町内会、是川地区振興会、是川団地町内会

(3) 市長招宴

期日 平成23年7月9日(土)

会場 八戸グランドホテル 2階ローズコート

概要 開館前に、関係者を対象とした市長招宴を行った。関係者と次第は下記のとおり。

市長挨拶 八戸市長

来賓祝辞 八戸縄文保存協会長 栗村知弘 様

来賓紹介

乾 杯 八戸市名誉市民 中里信男 様

祝 宴

万歳三唱 八戸市議会議長 秋山恭寛 様

《招待者》 22名

寄贈者遺族、資料寄贈者、検討委員会等委員、関係者、八戸市議会、八戸市

(4) 開館記念式典

期日 平成 23 年 7 月 10 日(日) 10:00～
 会場 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 アトリウム
 概要 開館を記念した式典を下記のとおり行った。

なお一般観覧者の入場は、式典終了後の 12:00～とした。

- 式 辞 八戸市長
- 建設経過報告 是川縄文館長
- 感謝状贈呈 佐々木月花 様
- 祝 辞 青森県教育委員会教育長 橋本都 様、衆議院議員 大島理森 様、田名部匡代 様
- 来賓紹介
- 合 唱 「縄文の風」 白銀南中学校合唱部、根城中学校合唱部、第一中学校合唱部
- 除 幕 式 「泉山岩次郎氏・泉山斐次郎氏胸像」
 八戸市長、泉山カツエ 様、泉山信子 様、泉山悦子 様、泉山仁 様
- テープカット 八戸市長、秋山恭寛 様 (八戸市議会議長)、福島哲男 様 (八戸商工会議所会頭)、川口大地 様 (是川小学校)、森夏蓮 様 (是川中学校)



開館記念式典の様子

4. 事業概要

(1) 常設展示

常設展示は、直感的な手法では川遺跡を印象付け(右脳)、論理的な手法で詳しい解説を行なう(左脳)、対比的なコンセプトとしており、「縄文の美と謎を探る」ことをテーマとしている。

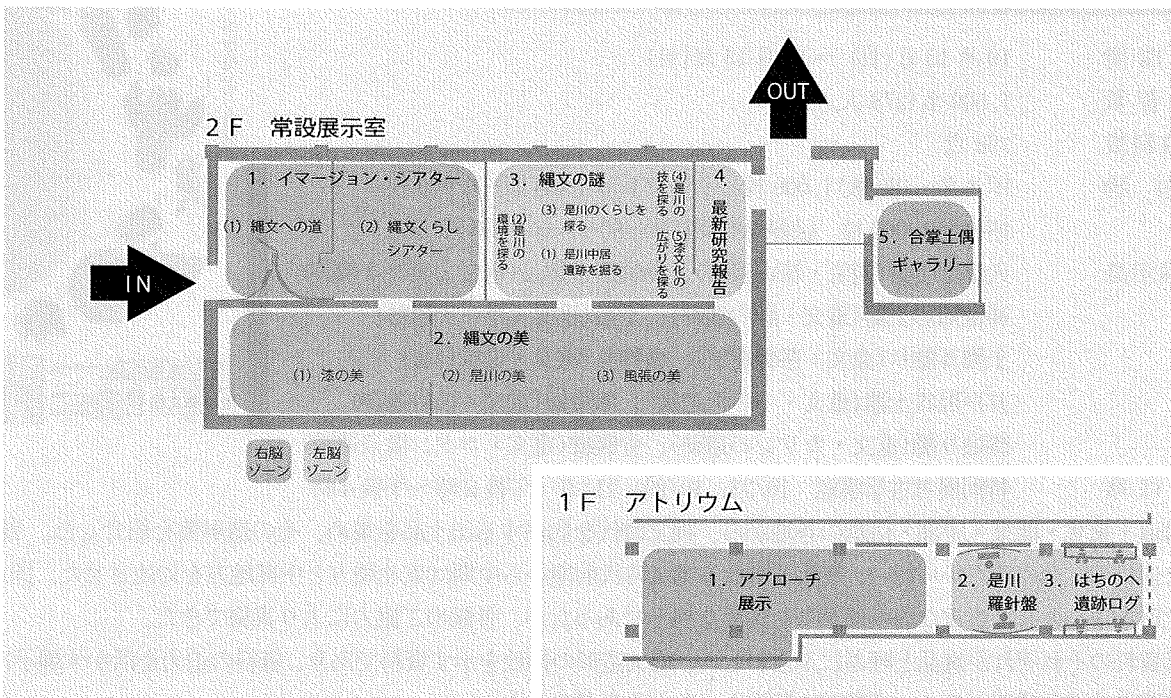
導入部のイマージョン・シアターは、来館者には川遺跡の特徴を印象付け、体験できるシアター空間。漆塗り遺物の赤と黒や縄文文様をテーマとする神秘的な「縄文への道」に続き、豊かな自然の中で植物を多用に利用した暮らしを紹介する「縄文くらしシアター」で構成する。続く「縄文の美」は「漆の美」「是川のみ」「風張の美」の3コーナーからなり、縄文人が作り出した造形美をじっくりと鑑賞できる空間とした。

左脳ゾーンとなる「縄文の謎」では、是川中居遺跡の発掘現場から、調査研究成果として「環境」「くらし」「わざ」

常設展示品(平成 23 年度)

考古資料のうち、国指定重要文化財が占める割合は8割を超える。

展示室	展示品	重要文化財	指定外	レプリカ	復元品	民俗資料
漆の美	53	51	2	—	—	—
是川の美	226	182	44	—	—	—
風張の美	203	203	—	—	—	—
縄文の謎	88	47	1	6	24	10
最新研究報告	48	20	28	—	—	—
国宝展示室	1	※国宝 1	—	—	—	—
計	619	504	75	6	24	10



展示構成

「漆文化の広がり」という4つのテーマから紹介している。続く「最新研究報告」は、埋蔵文化財センターの調査・研究成果を更新しながら展示する常新展示を目指している。

合掌土偶は「国宝展示室」の免震・密閉式展示ケースにて展示されている。

なお、1階アトリウムはガイドンス展示となっており、八戸市の遺跡や、全国の縄文遺跡について調べることができる体験型の端末「はちのへ遺跡ログ」・「是川羅針盤」を設置している。

(2) 企画展示

平成23年度は、開館を記念した企画展「八戸の埋蔵文化財」と特別展「縄文至宝展」を開催した。特別展は当初、開館と同時に開催を予定していたが、準備期間中に東日本大震災の余震が予想されたため、秋期企画展と入れ替えて開催した。開催には埋蔵文化財保存活用事業を活用し、併催行事として企画展考古学講座及び特別展考古学講座を行った。

開館記念企画展「八戸の埋蔵文化財」

開催期間	7月10日(日)～9月25日(日)
入場者数	19,245名(275人/日)
展示資料数	222点
印刷物	ポスター(B2版)1,000枚 解説リーフレット(A3版)25,000枚 図録(A4版カラー78ページ)500部
主な展示品	ナイフ形石器(田向冷水遺跡)、多縄文土器 ^{*1} (櫛引遺跡)、 狩猟文土器 ^{*1} (県重宝・葎窪遺跡)、蕨手刀 ^{*2} (丹後平古墳群)、 鉄鏃(林ノ前遺跡)、陶器・磁器(根城跡) ^{*2} 、 焼塩壺(八戸城跡) *1…青森県立郷土館蔵 *2…八戸市博物館蔵
併催行事	企画展考古学講座 7/30、8/6、8/20 午後2時～午後4時



昭和49年(1974)から八戸市内で行われてきた発掘調査の歩みを、年代順に紹介した。旧石器時代から江戸時代に至る展示資料は全て八戸市内出土品で構成し、一部を青森県立郷土館・青森県埋蔵文化財調査センター・八戸市博物館(南郷区歴史民俗資料館)から借用した。発掘調査とまちづくりが密接に関わっていることや、遺跡の保存・活用などをテーマとした。展示室の一角に、「学芸員のおすすめ」コーナーを設置し、月毎に展示替をした。発掘年代順の展示を左回りで構成したが、順路案内が欲しいとの声があった。常設展示では年表のみとなっている通史展示が、出土品とともに見られるようになり、好評であった。

開館記念特別展「縄文至宝展」

開催期間	10月15日(日)～11月13日(日)
入場者数	7,509名(278人/日)
展示資料数	358点
印刷物	ポスター(B2版)1,000枚 リーフレット(A4版)50,000枚 招待券1,000枚 図録(A4版カラー89ページ)500部
主な展示品	火焰型土器(国宝・笹山遺跡)、動物形土製品(重文・美々4遺跡) 神像筒形土器(重文・藤内遺跡)、土面(重文・ママチ遺跡) 土製耳飾り(重文・茅野遺跡)、腰飾り(重文・里浜貝塚) 井戸尻式土器(重文・一の沢遺跡)、漆塗櫛(重文・後谷遺跡) 漆塗り櫛(重文・カリンバ遺跡)、骨製櫛(重文・コタン温泉遺跡)
併催行事	特別展考古学講座 10/23、10/29、11/5 午後2時～午後4時



北海道・東北・関東・中部・信越の各地から、縄文時代を代表する出土品を集め、その造形美を紹介した。展示は、装飾と素材の二つの観点から行い、時代が重なる縄文時代前期から中期は東北地方と中部地方を対比させた。国宝・重要文化財を中心とした貴重な資料ばかりを集めた展示であったが、各館のご協力により実施できた。

展示資料のそれぞれが逸品と呼ぶにふさわしい、縄文造形の極致を示す資料であり、資料の迫力を活かす展示に努めた。観覧者の滞在時間が長く、複数回の観覧をされた方も見られた。

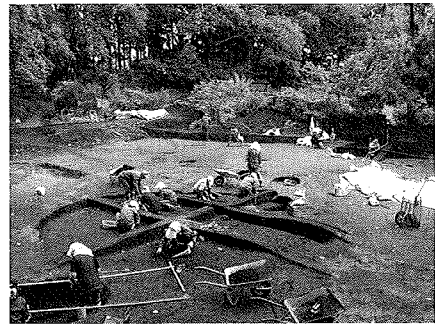
(3) 埋蔵文化財発掘調査

【埋蔵文化財発掘調査】

八戸市には、約 485 箇所の周知の埋蔵文化財包蔵地（以下、遺跡）が存在し、土木工事等の開発により遺跡が破壊される場合、事前に記録保存のため発掘調査が必要となる。市では、社会教育課に提出された遺跡内の工事に係る届出（通知）書に基づき、是川縄文館でこれらの発掘調査を実施している。

平成 23 年度は、31 遺跡及びその隣接地の計 47 件の発掘調査を実施した。内訳は試掘・確認調査 39 件、本発掘調査 8 件（試掘後の本調査を含む）である。調査数が最も多い遺跡は田面木地区に所在する田面木遺跡で6件を数える。中でも第 37 地点の調査は調査面積 2,700 m²であり、平成 23 年度の最大規模の発掘調査となった。

調査原因の種類別では、個人住宅建築・増築 19 件、市道改良（舗装）工事 7 件、下水道整備工事 4 件、集合住宅（アパート）建築 3 件、市立小中学校耐震補強工事 3 件、携帯電話鉄塔建設 2 件、長芋作付け・盛土造成・自然崩壊ほか 9 件となっており、個人住宅建築に係る発掘調査数が圧倒的に多い。



田代遺跡の発掘調査

平成 23 年度八戸市内遺跡発掘調査一覧

	遺跡名	調査	調査原因	調査期間	調査面積(m ²)	主な時代
市 内 遺 跡 発 掘 調 査 事 業	酒美平遺跡第14地点	試掘・本調査	個人住宅建築	H23.4.6・15～26	50.6	奈良・集落跡
	櫛引遺跡①	試掘調査	個人住宅増築	H23.4.7・15	8.3	縄文・集落跡
	八戸城跡第28地点	試掘調査	集合住宅建築	H23.4.9	32	近世・城館跡
	上野遺跡	試掘調査	個人住宅建築	H23.4.13	4.9	縄文・集落跡
	田面木遺跡①	試掘調査	集合住宅建築	H23.4.13	92	平安・集落跡
	山内遺跡	試掘調査	個人住宅建築	H23.4.23	16.5	平安・散布地
	石橋遺跡①隣接地	試掘調査	福祉施設建築	H23.4.27	94.5	平安・集落跡
	松ヶ崎遺跡第15地点	試掘・本調査	個人住宅建築	H23.4.30・6.8～6.14	28	縄文・集落跡
	中道遺跡	試掘調査	個人住宅建築	H23.5.12	14	縄文・散布地
	八戸城跡①	試掘調査	個人住宅建築	H23.5.12	6	近世・城館跡
	田面木遺跡第37地点	本調査	長芋作付け	H23.4.26～6.24	2,600	平安・集落跡
	葎窪遺跡第1地点	試掘調査	携帯電話鉄塔建設	H23.5.14	23	縄文・集落跡
	古玄中寺遺跡	試掘調査	個人住宅建築	H23.5.19	5	縄文・散布地
	重地遺跡	試掘調査	個人住宅建築	H23.5.21	4.5	縄文・集落跡
	三社遺跡	試掘調査	墓地造成	H23.5.24～27	158.5	縄文・散布地
	根城跡下町	試掘調査	個人住宅建築	H23.6.3・30	14	中世・城館跡
	櫛引遺跡②・③	試掘調査	道路改良工事	H23.7.8・8.2	37.4	縄文・集落跡
	坂中遺跡第2地点	本調査	土留め・農地造成・ 牛蒡作付け	H23.5.31～6.4、 8.25～10.5	270	平安・集落跡
	田面木遺跡第38地点	試掘調査	盛土造成	H23.6.16～23	28	平安・集落跡
	八戸城跡②	試掘調査	調剤薬局建設	H23.5.27	12	近世・城館跡
	塩入遺跡	試掘調査	店舗建設	H23.7.15	12	縄文・集落跡
	大茂館跡隣接地	試掘調査	道路舗装工事	H23.8.2	18	中世・城館跡
	館平遺跡①	試掘調査	個人住宅建築	H23.8.2・3	45	平安・集落跡
	林ノ前遺跡	本調査	自然崩壊	H23.8.3～10.8	131	平安・集落跡
	松館遺跡	試掘調査	携帯電話鉄塔建設	H23.8.5	41	縄文・集落跡
	田面木赤坂(1)遺跡	試掘調査	個人住宅建築	H23.8.26	8	縄文・散布地
	田代遺跡第1地点	試掘・本調査	農地造成	H23.8.30～10.15	995	縄文・集落跡
	蛇ヶ沢遺跡	試掘調査	個人住宅建築	H23.9.22	9	縄文・集落跡
	咽平遺跡	試掘調査	個人住宅建築	H23.10.7	37	縄文・集落跡
	酒美平遺跡①	試掘調査	個人住宅建築	H23.10.27	6	奈良・集落跡
	待ア台遺跡	試掘調査	道路改良工事	H23.10.27	98	縄文・散布地
	館平遺跡②	試掘調査	個人住宅建築	H23.11.14	6	平安・集落跡
	館平遺跡③	試掘調査	個人住宅建築	H23.11.29	31	平安・集落跡
酒美平遺跡第15地点	試掘調査	個人住宅建築	H23.12.22～24	32	奈良・集落跡	
石橋遺跡②	試掘調査	道路改良工事	H24.1.12	3	平安・集落跡	
大タルミ遺跡	試掘調査	道路改良工事	H23.12.8	11	縄文・散布地	
館平遺跡④	試掘調査	個人住宅建築	H24.3.28	28	平安・集落跡	
受 託 事 業	八戸城跡第28地点	本調査	集合住宅建築	H23.6.30～7.12	160	近世・城館跡
	田面木遺跡第41地点	確認調査	市立田面木小学校 校舍耐震補強工事	H23.8.10	18	平安・集落跡
	市子林遺跡第19地点	確認調査	市立大館中学校 屋内運動場耐震補強工事	H23.8.16	10	奈良・集落跡
	殿見遺跡第4地点	本調査	市立明治中学校 屋内運動場耐震補強工事	H23.8.20～9.1	256	平安・古墳
	石橋遺跡	確認調査	下水道整備工事	H23.8.30～9.3	50	平安・集落跡
	重地遺跡	確認調査	下水道整備工事	H23.9.6～9.10	146	縄文・集落跡
	冷水遺跡	確認調査	下水道整備工事	H23.10.18～10.22	30	縄文・散布地
	下松苗場遺跡	確認調査	下水道整備工事	H23.10.18	10	縄文・散布地
	田面木遺跡第39地点	本調査	道路改良工事	H23.10.25～11.5	220	平安・集落跡
	田面木遺跡第40地点	試掘調査	道路改良工事	H23.11.10～11.15	80	平安・集落跡

【埋蔵文化財調査報告書】

平成 23 年度に実施された発掘調査の成果を埋蔵文化財調査報告書として計 4 冊を年度末に刊行した。また市では平成 7 年～22 年に史跡である是川遺跡の発掘調査を断続的に行っており、これらの調査成果を総括した「史跡是川石器時代遺跡発掘調査報告書」を刊行した。

平成 23 年度刊行埋蔵文化財調査報告書一覧

八戸市埋蔵文化財調査報告書	第 135 集	史跡是川石器時代遺跡発掘調査報告書
	第 136 集	八戸市内遺跡発掘調査報告書 29
	第 137 集	田面木遺跡
	第 138 集	八戸城跡Ⅶ
	第 139 集	田面木遺跡第 41 地点・市子林遺跡第 19 地点・殿見遺跡第 4 地点

(4) 是川遺跡の整備活用

① 第3回是川遺跡調査指導委員会（終了）

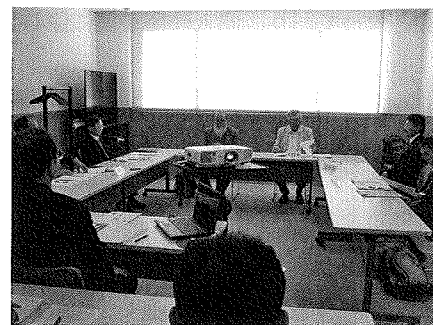
期日 平成 23 年 10 月 14 日（金） 13:30～

会場 是川縄文館 1F 会議室

出席者 岡村道雄委員長 鈴木三男副委員長・須藤隆委員・高田和徳委員
水ノ江和同文化庁文化財部記念物課調査官

小笠原雅行青森県教育委員会文化財保護課主幹

概要 是川遺跡の保存活用の推進に関する委員会。一王寺遺跡の保護すべき範囲や、平成 23 年度に刊行する「史跡是川石器時代遺跡発掘調査報告書」の内容について意見が提出された。



委員会の様子

② 是川縄文館草刈等委託

期間 平成 23 年 6 月 16 日（木）～ 9 月 30 日（金） 回数：2 回

場所 史跡是川石器時代遺跡・八戸市縄文学習館敷地内・

是川遺跡記念碑 ※委託総面積：約 47,700 m²

受託者 青森緑化株式会社

事業費 2,289 千円

概要 遺跡・環境の保全、景観管理のため、是川縄文館開館前の 6 月中旬、これかわ縄文まつり開催前の 8 月中旬に実施した。



草刈り完了状況（中居遺跡）

③ 是川縄文館分館屋外サイン等製作業務委託

期間 平成 24 年 1 月 20 日（木）～ 3 月 9 日（金）

場所 八戸市縄文学習館敷地内（中居遺跡 6 箇所）

受託者 株式会社ニシキデザイン

事業費 714 千円

概要 分館敷地内で整備されている中居遺跡に、竪穴住居・土坑墓・配石遺構・水さらし場・捨て場・土器棺墓の解説サイン 6 台を設置した。



屋外サイン設置作業

(5) 教育普及

○ ボランティア養成講座（6月）

月 日	内 容	講 師	参加者
6 月 2 日（木）	是川縄文館と是川遺跡について	大野亨・小久保拓也・市川健夫（当館学芸員）	37 人
6 月 9 日（木）	是川縄文館展示解説Ⅰ	小久保拓也・市川健夫（当館学芸員）	37 人
6 月 27 日（木）	是川縄文館展示解説Ⅱ	市川健夫（当館学芸員）	37 人
6 月 30 日（木）	縄文学習館展示解説	市川健夫（当館学芸員）	35 人

○ 開館記念講演会

月日	演題	講師	参加者
7月17日(日)	是川遺跡の現在と未来	岡村道雄氏(奈良文化財研究所 名誉研究員)	127人

○ 企画展考古学講座 一八戸の埋蔵文化財一

月日	演題	講師	参加者
7月30日(土)	埋蔵文化財の保存と活用	水ノ江和同氏(文化庁記念物課 文化財調査官)	45人
8月6日(土)	是川遺跡と長七谷地貝塚	小林和彦(当館 館長)	44人
8月20日(土)	発掘30年の歩み	工藤竹久氏(八戸市博物館 館長)	38人

○ 縄文の布を編む講座

月日	内容	講師	参加者
9月2日(土)	①解説 一縄文の布について一 ②実習 一縄文の布を編む一	市川健夫(当館学芸員) 島田節子氏(ボランティア)	4人

○ 縄文土器作り講座

月日	内容	講師	参加者
9月27日(火)	素地土作り	小林和彦(当館館長)	12人
9月30日(金)	成形	小林和彦(当館館長)	14人
10月28日(金)	野焼き	市川健夫(当館学芸員)	19人

○ 特別展考古学講座

月日	演題	講師	参加者
10月23日(日)	縄文世界の土偶一その形の面白さ一	原田昌幸氏(文化庁美術学芸課主任文化財調査官)	62人
10月29日(土)	縄文土器の世界	藤沼邦彦氏(元弘前大学教授)	44人
11月5日(土)	縄文人と木の文化	山田昌久氏(首都大学東京教授)	39人

○ 考古学講座

月日	演題	講師	参加者
12月4日(日)	縄文人の環境適応一環境変動と災害をのりこえて一	辻誠一郎氏(東京大学新領域創成科学研究科教授)	34人
12月17日(土)	是川遺跡と亀ヶ岡文化の社会	高橋龍二郎氏(早稲田大学文学学術院教授)	43人
1月14日(土)	縄文文化に探る人類の確かな未来	大島直行氏(伊達市噴火湾文化研究所所長)	52人
2月11日(土)	是川縄文の森	鈴木三男氏(東北大学教授)	68人

○ ボランティア養成講座

月日	内容	講師	参加者
1月17日(火)	ボランティアと是川縄文館	小林和彦(当館館長)	28人
1月21日(土)	是川中居遺跡・ボランティアの活動について	市川健夫(当館学芸員)	30人
1月24日(火)	是川縄文館展示解説	市川健夫(当館学芸員)	30人
1月28日(土)	縄文学習館展示解説	市川健夫(当館学芸員)	30人
1月31日(火)	縄文土器作り実習	市川健夫(当館学芸員)	29人
2月4日(土)	ボランティア活動と是川縄文館(博物館)	栗村知弘氏(八戸縄文保存協会会長)	26人
2月7日(火)	体験学習指導・展示解説英会話	大平夕子氏(県国際観光アドバイザー)	22人
2月14日(火)	縄文土偶作り実習	市川健夫(当館学芸員)	23人
2月18日(土)	陶器作り実習①	後村弘樹氏(陶芸家)	19人
2月22日(水)	陶器作り実習②	後村弘樹氏(陶芸家)	10人
3月22日(木)	縄文の布を編む実習	市川健夫(当館学芸員)	17人
3月27日(火)	博物館研修(岩手県滝沢村・盛岡市)	市川健夫(当館学芸員)	29人

○ 日曜日縄文体験コーナー 体験学習指導：縄文は川ボランティア

月日	内容	参加者
夏季前期：7月10日(日)～7月17日(日)	・火起こし ・縄文土器作り ・縄文土偶作り ・土製耳飾り作り	70人
夏季後期：8月28日(日)～10月30日(日)	・勾玉作り ・文様拓本 ・縄文の布を編む	250人
冬季：11月6日(日)～3月25日(日)		232人

○ 夏休み縄文体験コーナー 体験学習指導：縄文は川ボランティア

月日	内容	参加者
7月23日(土)～8月21日(日) までの毎週土曜日・日曜日	・火起こし ・縄文土器作り ・縄文土偶作り ・土製耳飾り作り ・勾玉作り ・文様拓本 ・縄文の布を編む	515人

○ 学芸員による講座

月日	内容	団体・場所	参加者
5月24日(火)	講話「八戸の歴史と縄文文化」(初任者研修)	八戸市総合教育センター(於：同センター)	13人
7月23日(土)	講座「長七谷地貝塚」(世界文化遺産講座)	鹿角市教育委員会(於：大湯ストーンサークル館)	14人
7月29日(金)	講話「泉山兄弟と是川遺跡・合掌土偶について」	道徳研究会(於：是川縄文館)	13人
9月10日(土)	講話「八戸の風土と縄文の暮らし」	八戸自由大学(於：吉田産業本社)	20人
10月12日(水)	講演「田面木地区の周辺の遺跡」	田面木公民館(於：同公民館)	50人
10月26日(水)	講話「是川遺跡の整備」	食品衛生協会(於：八戸プラザアーバンホール)	280人
	講話「是川縄文遺跡の魅力」(大学公開講座)	青森中央学院大学(於：同大学)	120人
10月28日(金)	講話「ボランティアの育成とつながり」	青森県教育事務所担当者会議(於：是川縄文館)	12人
11月4日(金)	講話「是川縄文遺跡の魅力」	鷗盟大学(於：是川縄文館)	50人
11月7日(月)	講話「是川遺跡について」	青森県立八戸商業高等学校(於：是川縄文館)	41人
11月10日(木)	講話「是川遺跡について」	高教研 地歴公民部会 二戸支部(於：是川縄文館)	8人
11月11日(金)	講演「八戸の縄文文化と是川縄文館」	八戸市立市民病院医療・医師会(於：同病院)	30人
11月17日(水)	講話「是川縄文館と是川遺跡について」	八戸市福祉協議会(吹上公民館共催 於：同公民館)	18人
11月18日(金)	講演「是川縄文館について」	青森県立種差少年自然の家(於：是川縄文館)	24人
11月19日(土)	講演「是川遺跡の発掘」(青森県考古学会秋季大会)	青森県考古学会(於：是川縄文館)	40人
11月25日(金)	講話「是川縄文館について」	青森県高等学校教頭・副校長会(於：是川縄文館)	20人
12月8日(木)	講演「是川縄文館・是川遺跡について」	小中野公民館高齢者学級(於：同公民館)	60人
12月22日(木)	講話「是川縄文遺跡の魅力」(八戸中央ライオンズクラブ例会)	八戸中央ライオンズクラブ(於：八戸グランドホテル)	30人
1月18日(水)	講話「南郷地区の遺跡」	南郷公民館高齢者教室(於：同公民館)	20人

○ 土曜日体験教室

月 日	内 容	講 師	参加者
9月10日(土)	縄文土偶作り教室	市川健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	3人
10月22日(土)	トチの実を食べる教室(於:縄文学習館)	市川健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	11人
11月26日(土)	ドングリを食べる教室(於:縄文学習館)	市川健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	13人
12月10日(土)	縄文土器拓本教室	市川健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	4人
1月21日(土)	縄文の布を編む教室	市川健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	9人
2月25日(土)	縄文土器作り教室	市川健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	19人
3月10日(土)	縄文土偶作り教室	市川健夫(当館学芸員)・縄文是川ボランティア	15人

○ ボランティアによる体験学習の指導 ※参加者数は、各団体来館者のうち、実際の体験参加者数を記載する。

月 日	内 容	参加者	月 日	内 容	参加者
5/24(火)	ミニ合掌土偶作り (総合教育センター初任者研修) 於:同センター	12人	10/4(火)	遮光器土偶頭部の皿作り (十和田市十和田あゆみ保育園)	19人
6/21(火)	縄文土器作り(白銀小学校6年) 於:学校	56人	10/5(水)	火起こし(洋野町立城内小学校全学年)	42人
7/11(月)	ミニ合掌土偶作り(南部小学校6年)	20人		縄文土器作り(三戸郡退谷連女性部)	6人
7/12(火)	縄文土器作り (五戸町立上市川小学校・切谷内小学校6年)	36人	10/6(木)	縄文土器作り(デーリー東北販売会婦人部)	13人
	縄文土器作り(階上町立石鉢小学校6年)	51人	10/12(水)	縄文土器作り(三沢市ソラーズ小学校6年)	29人
7/14(木)	縄文土器作り(旭ヶ丘小学校6年)	79人	10/13(木)	縄文土器作り(十和田市立米田小・大不動小 ・滝沢小学校5・6年)	32人
7/15(金)	ペンダント作り(鮫小学校5年親子レク)	122人	10/14(金)	縄文土器作り・ペンダント作り(うみねこ教室)	21人
7/17(日)	縄文土器作り(第2桜ヶ丘子ども会)	40人	10/16(日)	縄文土器作り(階上町大蛇小学校4年親子)	13人
7/24(土)	縄文土器作り(豊崎小学校親子レク)	29人	10/18(火)	縄文土器作り(三沢市ソラーズ小学校6年)	25人
	火起こし(東根城子ども会)	20人		縄文土器作り(八戸第二養護学校小学部5年) 於:学校	9人
8/1(月)	火起こし(八戸市レクリエーション協会 「被災者応援事業」)	17人	10/20(木)	縄文土器作り(南部町田向小学校6年)	35人
			10/22(土)	火起こし(柿の木苑)	17人
8/2(火)	縄文土器作り(久慈市立待浜公民館)	31人	10/25(火)	縄文土器作り(八戸第二養護学校小学部5年)	9人
	縄文土器作り(新郷村教育委員会)	19人	10/26(水)	火起こし・勾玉作り (八戸第二養護学校高等部1・3年)	23人
	縄文土器作り(個人)	2人	10/27(木)	縄文土器作り(三沢市ソラーズ小学校6年)	23人
8/9(火)	縄文の布を編む体験(個人)	2人	11/2(水)	縄文土器作り(松館小学校5年・6年)	6人
	ミニ合掌土偶作り(個人)	2人	11/3(木)	遮光器土偶頭部の皿作り(三沢市カミングス小学校)	43人
8/12(金)	縄文土器作り(鳥守小学校6年)	17人	11/4(金)	ペンダント作り(八戸第二養護学校中学部全学年)	9人
8/17(水)	縄文土器作り(個人)	5人		テラコッタ野焼き(是川中・是川小・是川東小学校 合同) 於:是川中学校	266人
8/24(水)	火起こし(是川小学校5年) 縄文まつり練習	6人	11/5(土)	縄文土器作り・ペンダント作り(阿光坊古墳群保存会)	12人
8/25(木)	縄文土器作り(美保野中学校3年)	4人	11/6(日)	火起こし(吹上おやじの会)	27人
	ペンダント作り(階上町立道仏小学校6年)	21人	11/7(月)	ペンダント作り(八戸商業高等学校国際経済科2年)	38人
8/30(火)	縄文土器作り(東北学院大学考古学研究所)	29人		ペンダント作り(田面木小学校6年親子レク)	93人
	ミニ合掌土偶作り(是川小学校4年)	32人	11/10(木)	ペンダント作り(組合立田代中学校1年)	7人
8/31(水)	縄文土器作り(是川小学校6年)	46人		ペンダント作り(八戸市お試しデイサービスかぶしま)	18人
	勾玉作り(一戸町保健推進委員協議会)	33人	11/18(金)	ミニ合掌土偶作り(南部町立名川南小学校5・6年)	14人
9/1(木)	縄文土器作り(是川小学校5年)	46人	11/20(日)	縄文土器作り (洋野町種市放課後児童クラブドリームキャンパス)	30人
	縄文土器作り(是川東小学校3・5年)	4人	12/1(木)	遮光器土偶頭部の皿作り(三沢市ソラーズ小学校2年)	42人
9/2(金)	縄文土器作り(是川小学校2年)	42人	12/2(金)	遮光器土偶頭部の皿作り(三沢市ソラーズ小学校2年)	44人
	板状土器作り(是川東小学校1・2年)	2人	12/3(土)	縄文の布を編む体験(明治小学校6年)	74人
9/4(日)	火起こし(是川地区体育振興会運動会点火式)	3人	12/6(火)	縄文土器作り(町畑小学校5年)	16人
9/6(火)	縄文土器作り(三戸町立斗川小学校5年)	10人	1/5(木)	縄文土器作り(山鳩子ども会)	36人
9/7(水)	縄文土器作り(是川小学校3年)	46人	1/11(金)	勾玉作り(いきがい中央大学)	23人
9/8(木)	ペンダント作り(是川小学校1年)	32人	1/26(木)	ペンダント作り(八戸工業高等専門学校2年)	177人
	縄文土器作り (おいらせ町立十和田湖小学校全学年)	17人	2/12(日)	火起こし(田面木小学校6年)	3人
9/9(金)	縄文土器作り(白山台中学校1年)	144人	2/17(金)	火起こし(階上町立大蛇小学校5・6年)	26人
9/13(火)	縄文土器作り(城下小学校6年) 於:学校	52人		火起こし(田面木小学校6年、かがり火えんぶり) 於:市庁前広場	3人
9/16(金)	火起こし(みどり幼稚園)	32人	2/19(日)	火起こし(八戸地域グリーンツーリズム推進協議会 「オラガ大植夢広場」)	26人
9/17(土)	縄文土器作り(階上町教育委員会) 於:ハートフルプラザはしかみ	27人	2/22(水)	火起こし(是川児童館)	3人
9/21(水)	縄文土器作り(南浜中学校全学年)	70人	2/25(土)	火起こし・勾玉作り(喜久吉塾スクール)	26人
9/22(水)	ペンダント作り(根城小学校5年)	70人	3/9(金)	縄文土器作り(個人)	1人
9/24(土)	縄文土器作り(個人)	8人	3/11(日)	火起こし(三戸町立袴田公民館)	14人
10/1(土)	縄文土器野焼き(階上町教育委員会) 於:階上町立民俗資料収集館	42人	3/19(月)	縄文土器作り(個人)	8人

○ 縄文是川ボランティア博物館研修

月 日	研修先	引率者	参加者
2月15日(水)	宮城県仙台市(東北大学総合学術博物館・東北学院大学博物館・ 仙台市縄文の森広場・山田上ノ台遺跡)	市川健夫(当館学芸員)	16人

(6) 資料収蔵

是川縄文館では、是川遺跡出土品及び風張1遺跡出土品、平成10年以降の八戸市による遺跡発掘調査出土品について、資料の性質に基づき、特別収蔵庫及び一般収蔵庫に分けて収蔵・管理を行っている。

平成23年度は、是川縄文館における収蔵資料管理の体系化を目的として、風張1遺跡出土品の再整理・再収納を行った。また平成23年度の遺跡発掘調査において出土し整理作業が完了した土器・石器等の資料について、約450点（遺物収納箱約20箱分）を新たに収蔵した。

- ・特別収蔵庫：約700点（国指定重要文化財、木製品・金属製品等）
- ・一般収蔵庫：約2,380箱（土器・石器・土製品等）



一般収蔵庫

(7) 調査研究

八戸地域では、縄文遺跡を営んだ集団が周辺の自然環境とどのように関わり、適応していったのか、環境史的な視点からの調査研究が進んでいないという問題がある。これに対し、当地域の環境変動と人間活動の関わりを研究テーマとして考えていた東京大学大学院環境史研究室と平成23年度から3ヵ年計画の共同研究を開始した。

- ・共同研究テーマ 『古八戸湾変遷と集落生態系の復原』
- ・研究期間 2011年4月～2012年3月
(2011年～2013年度の3ヵ年計画の1年目)
- ・研究体制 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館
東京大学大学院新領域創成科学研究科社会文化環境学専攻 環境史研究室（代表 辻 誠一郎教授）



ボーリング・コア採取作業

・【研究活動】

①2011年5月17日～5月18日

第1回研究会、奥入瀬川周辺の現地視察（ボーリング候補地選定）、長七谷地貝塚、赤御堂貝塚出土土器の調査

②2011年7月13日～7月15日

第2回研究会、ボーリング・コアの採取（採集場所：おいらせ町日ヶ久保貝塚付近、奥入瀬川河口部、おいらせ町中野平付近）、長七谷地貝塚・赤御堂貝塚の年代測定用土器付着炭化物採取

③2011年10月8日～10日

補足調査用ボーリング・コアの採取（採集場所：長七谷地貝塚付近、おいらせ町中野平付近）

④2012年3月25日

第3回研究会（1年目総括・次年度研究計画打合せ）

・【関連活動】

- ・是川縄文館考古学講座 「縄文人の環境適応—環境変動と災害をのりこえて—」（辻 誠一郎氏、2011年12月4日）
- ・是川縄文館「研究紀要」第1号「八戸・上北地域の縄文時代の海と陸の生態系史」（2012年3月29日刊行）

(8) 広報・情報発信

館事業の広報および情報発信事業を、下記のとおり行った。

① 広報はちのへ連載記事「じょうもん発見！ 是川」(全9回)

平成22年10月号・12月号、平成23年2月号・4月号・6月号・8月号・10月号・12月号、平成24年2月の計9回で、是川縄文館の施設を紹介した。

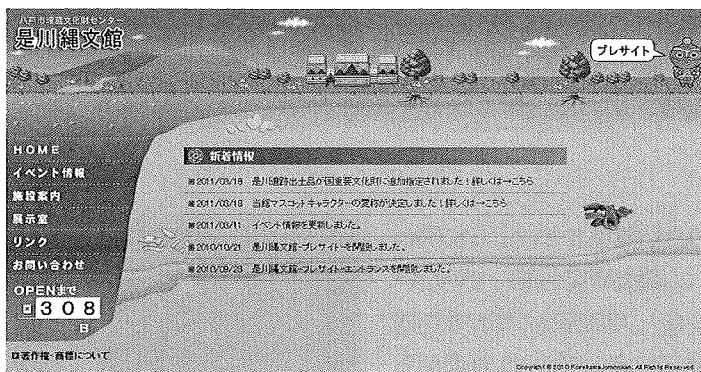
② 広告掲載

企画展および特別展開催を周知するため、地元新聞に広告を掲載した。

- ・企画展開催案内広告「八戸の埋蔵文化財」 デーリー東北新聞社（7/9朝刊）・東奥日報社（7/10朝刊）
- ・特別展開催案内広告「縄文至宝展」 デーリー東北新聞社（10/14朝刊）・東奥日報社（10/15朝刊）

③ 八戸市埋蔵文化財センターは川縄文館ホームページ作成

インターネットを利用した広報・情報発信として、ホスティングサーバー上にホームページを開設した。平成 22 年 10 月から開館当日までは、開館への期待感を醸成するためのプレサイトを開設し、施設概要の紹介とともに、開館日までのカウントダウンを表示した。開館後は、施設概要・利用案内・行事案内などの通常ページと、ブログ形式の活動紹介を参照できる形態とした。各職員によるコンテンツの更新が簡便にできるよう、CMS*を使ったホームページとし、設計・製作および管理のみ外部委託した。1日あたりの平均訪問者数は81.73人（平成23年11月～平成24年3月末まで）である。*Contents Management System 是川縄文館ではMovable Typeを採用した。



是川縄文館プレサイト

年月	訪問数	平均(日)
2011年11月	2,828	94.27
2011年12月	2,020	65.16
2012年1月	2,598	83.81
2012年2月	2,514	86.69
2012年3月	2,441	78.74
合計	12,401	81.73

ホームページ訪問者数

④ デーリー東北新聞連載記事「はちのへ縄文ワールド」(全24回)

平成23年1月～12月の期間に、月2回縄文文化をテーマとした記事を職員が作成した。

⑤ BeFM「施設ガイド」

地元コミュニティラジオの施設ガイドで、是川縄文館のイベント情報について紹介した（3ヶ月に1度）。

⑥ 図録等刊行

研究紀要のほか、常設展示及び企画展示について下記の図録を刊行した。図録についてはミュージアムショップで頒布している。

- 「是川縄文館常設展示図録」 A4版カラー89ページ
- 企画展図録「八戸の埋蔵文化財」 A4版カラー78ページ
- 特別展図録「縄文至宝展」 A4版カラー89ページ
- 「縄文の美—土器編—」 A4版カラー・モノクロ94ページ（B5版を改訂増刷）
- 「縄文の美—平成の出土品—」 A4版カラー117ページ（平成22年度刊行）
- 「研究紀要 第1号」 A4版モノクロ26ページ

(9) ミュージアムショップ・喫茶コーナー

① ミュージアムショップ

国宝「合掌土偶」をデザインしたグッズ、アクセサリ、お菓子のほか、縄文時代をテーマとしたグッズ等を多数販売している。また、一般書店では販売していない当館の常設展示図録や特別展等の図録なども販売している。

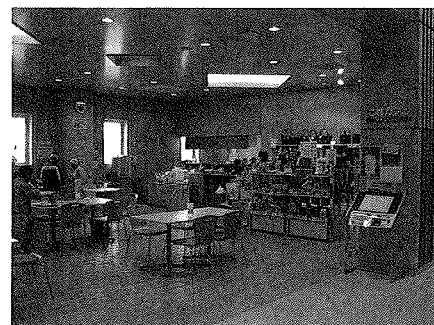
運営は八戸縄文保存協会が行っている。

【商品一例】

ポストカード、マグカップ、キーホルダー、記念切手シート、ストラップ、Tシャツ、土偶及び土器などのレプリカ、お菓子（クッキー、マドレーヌ、人形焼、せんべい）、書籍（「(8)広報・情報発信⑥図録等刊行参照」）等。

② 喫茶コーナー「これカフェ」

古代米を使用した「縄文カレー」や縄文時代に食されていたと考えられるドングリ、クルミ、ナッツを合わせた「縄文ソフトクリーム」のほか、郷土料理である「せんべい汁」などを提供している。



ミュージアムショップ・喫茶コーナー

Ⅱ. 八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館 分館（八戸市縄文学習館）

1. 沿革

八戸市縄文学習館は、考古館・歴史民俗資料館とともに是川遺跡と一体となって活用を図る「是川遺跡文化学習ゾーン」の中核施設として、平成6年(1994)に開館した。平成23年(2011)5月に一時休館し、展示リニューアルをへて、同年7月10日に改めて開館した。なお平成23年度機構改革により、八戸市縄文学習館は八戸市博物館分館から八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館分館へ所管替えとなった。

- 昭和32年(1957)：「是川石器時代遺跡」国史跡指定。
- 昭和36年(1961)：泉山岩次郎氏、斐次郎氏ご兄弟から出土品の寄贈を受ける。
- 昭和37年(1962)：寄贈品のうち、中居遺跡出土品633点が重要文化財に指定。
- 昭和38年(1963)：「考古館」完成(9月30日)。
- 昭和49年(1974)：「歴史民俗資料館」完成(3月30日)。
- 昭和50年(1975)：「歴史民俗資料館」開館(5月10日)。
- 平成5年(1993)：3月 「縄文学習館」基本設計完成。 4月 縄文学習館展示指導員会議実施。
5月 建築予定地発掘調査実施(8月終了)・地質調査完了。 6月 映像展示ソフト製作委託実施。
7月 建築実施設計完成。 8月 展示実施設計完成。
- 平成6年(1994)：3月 建築・設備・展示各工事完成。
6月 「縄文学習館」開館(6月24日、八戸市博物館分館)。
- 平成7年(1995)：是川遺跡文化学習ゾーンオープン(2月22日)。
- 平成16年(2004)：史跡追加指定。
- 平成23年(2011)：4月 機構改革により、「八戸市博物館分館」から「八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館分館」に所管替え。
5月 「考古館」・「歴史民俗資料館」閉館、「縄文学習館」一時休館、縄文学習館展示等改修業務委託実施。
6月 縄文学習館展示等改修業務委託完成。
7月 縄文学習館展示リニューアルオープン(7月10日)

2. 施設概要

(1) 施設の名称と位置

- 名称：八戸市縄文学習館（八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館 分館）
- 住所：青森県八戸市大字是川字中居3-1

(2) 施設の概要

- 構造：1階・2階鉄筋コンクリート造
- 敷地面積：15,668.10㎡ ○建築面積：526.34㎡ ○延床面積：623.82㎡
- 建築基本・実施設計：(株)武田菱設計事務所 ○建築工事：(株)大入建設
- 展示基本・実施設計及び施工：アール・エー・ビー開発(株)

(3) 主要施設・面積 ※床面積 1階:519.940㎡ 2階:103.880㎡

階	室名	面積	階	室名	面積	階	室名	面積
1F	事務室	29.975㎡	1F	常設展示室	118.673㎡	2F	資料整理室	34.504㎡
	情報資料室	29.635㎡		体験学習室	80.750㎡		収蔵庫	46.216㎡

○駐車場：普通車8台 ○トイレ：1箇所（障がい者用含む）

(4) 建設事業費 ※総事業費：341,671千円

- 基本・実施設計：11,845千円 ○外構工事等：5,789千円 ○本棟工事等：241,665千円
- 展示工事・映像資料製作：68,644千円 ○その他：13,728千円

(5) 展示改修等業務委託（平成23年度）

- 期間：平成23年5月11日(水)～6月30日(木) ○受託者：アール・エー・ビー開発(株)
- 事業費：8,810千円

3. 事業概要①(平成23年4月～5月)

八戸市縄文学習館は、平成23年度機構改革により、八戸市博物館分館から八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館分館に所管替えとなったため、以下では平成23年4月1日(金)から5月8日(日)までの事業報告を記載する。

(1) 常設展示①(縄文学習館 ※展示改修前)

I 泉山兄弟と是川遺跡

東北地方の縄文時代晩期を代表する遺跡「是川遺跡」を発見し、発掘を行い、遺跡とその出土品の保存を果たした泉山岩次郎・斐次郎兄弟のレリーフを飾り、その功績を伝える。

II 縄文のむら

是川遺跡や風張1遺跡の発掘調査成果をもとに、縄文のむらの様子を復元。土器作りをしている人や、木の実を集めたり、狩りをしている人の姿を表現し、当時の暮らしについてわかりやすく紹介。

III 縄文人の暮らし

風張1遺跡で発見された竪穴住居跡の一つを例として、出土遺物等から縄文人の暮らしを推定し、ジオラマとして再現。秋の夕暮れ、竪穴住居の中で食事の支度にかかっている家族の様子と、家の外で狩りによって仕留めたシカの解体作業をする若者と、トチの実を集める女性の様子を紹介。

IV ビデオ上映コーナー

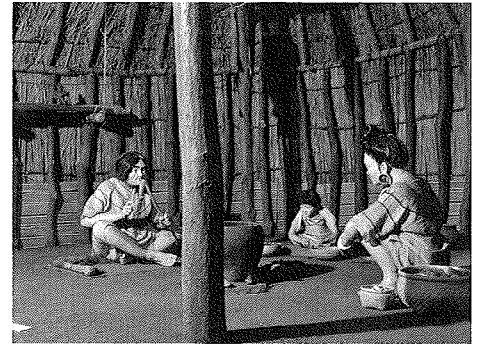
「是川遺跡と亀ヶ岡文化」及び「縄文時代の漆工芸」を上映。

V 情報資料室

考古学・縄文時代等に関する図書閲覧コーナー。平成23年7月10日(日)からは、慶應義塾大学名誉教授の江坂輝彌氏から寄贈された蔵書(江坂図書)とともに是川縄文館2Fの図書閲覧コーナーにて公開している。

VI 体験学習室

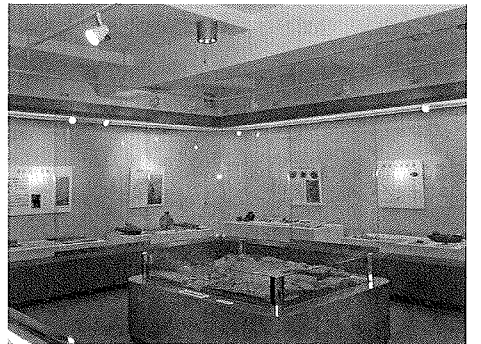
縄文土器作り等、各種講座に活用。



縄文学習館 常設展示室「縄文人の暮らし」

(2) 常設展示②(八戸市歴史民俗資料館・是川考古館 ※閉館前)

是川遺跡のうち、是川中居遺跡の出土品を中心に約550点を展示。漆工芸、装身具、土器等により亀ヶ岡文化をわかりやすく説明・紹介。



八戸市歴史民俗資料館 常設展示室

(3) 企画展示

第34回企画展「是川中居遺跡の土偶」

期 間 平成22年10月23日(土)～平成23年5月8日(日)

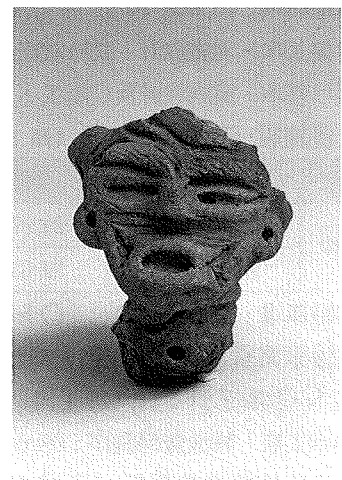
入 場 者 数 914人(平成24年4月1日(金)～5月8日(日))

※開催期間中の全入館者数は3,144人

展示資料数 58点

是川中居遺跡から見つかった様々な形の土偶について展示し、是川に住んでいた縄文人の土偶造形の豊かさについて紹介した。

土偶は1年以上の長きにわたり作られた縄文時代を代表する造形である。特に縄文時代晩期の土偶は、多彩な形や華やかな文様装飾が特徴で、縄文文化の成熟した姿をたたえている。是川中居遺跡から出土した縄文時代晩期の土偶は、その中でも卓越した造形美が見られ、観覧者から好評を得ることができた。



(4) 教育普及

○ ボランティア養成講座

月日	内容	講師	参加者
4月12日(火)	陶器作り(釉かけ)於:後村工房	後村弘樹氏(後村工房)	9人

○ 日曜日縄文体験コーナー 体験学習指導:縄文は川ボランティア

月日	内容	参加者
4月3日(日)~5月8日(日)全6回	・火起こし ・縄文土器作り ・縄文土偶作り ・土製耳飾り作り ・勾玉作り ・文様拓本 ・縄文の布を編む	78人

○ 学芸員による講座

月日	内容	団体・場所	参加者
4月14日(木)	講話「是川中居遺跡の調査-考古学研究の方法と広がり-」	八戸北高等学校(於:是川縄文館)	6人

○ ボランティアによる体験学習の指導 ※参加者数は、各団体に来館者のうち、実際の体験参加者数を記載する。

月日	内容	参加者
4月23日(土)	縄文の布を編む教室	0人
4月27日(水)	ミニ合掌土偶作り(市野沢小学校6年)於:学校	18人
5月2日(月)	縄文土器作り(吹上小学校6年)	133人
5月5日(木)	火起こし(個人)	5人

(5) 日記抄

年/月/日	事項	年/月/日	事項
H23/4/3	日曜日縄文体験コーナー開始(7人)	4/24	日曜日縄文体験コーナー(1人)
4/10	日曜日縄文体験コーナー(8人)	4/26	縄文土器野焼き(26人)
4/12	見学:観光コンベンション協会(2人)	4/27	ミニ合掌土偶作り:市野沢小学校(18人)於:学校
	ボランティア養成講座「陶器釉かけ」(9人)於:後村工房	4/28	見学:学校組合立田代小学校(5人)
4/14	講話・見学:青森県立八戸北高等学校(6人)講師:当館学芸員	5/1	日曜日縄文体験コーナー(42人)
4/16	トナ餅準備(7人)	5/2	見学:五戸町立又重小学校・中市小学校・石沢小学校6年(28人)
4/17	日曜日縄文体験コーナー(7人)		縄文土器作り・見学:吹上小学校6年(138人)
4/20	調査:青森県埋蔵文化財調査センター(2人)	5/5	火起こし・見学:個人(5人)
4/23	縄文は川ボランティア激励セレモニー(44人)	5/7	見学:是川団地なかよしクラブ&デイセンターアップル(25人)
	縄文の布を編む教室(5人)	5/8	取材:東奥日報社(1人) 日曜日縄文体験コーナー(13人)

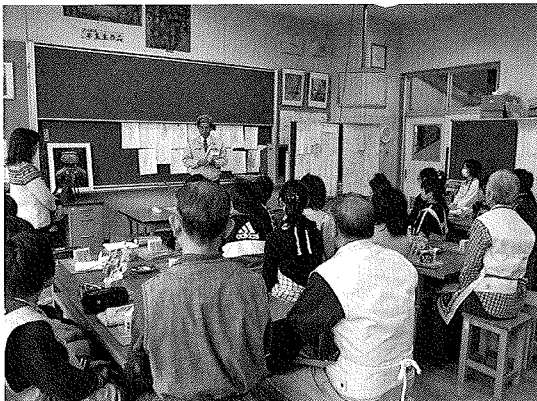
(6) 来館者利用状況

月	個人				団体				減免入館者				有料 観覧者	免除 観覧者	講座等 入館者	入館者 総数	開館 日数	平均 入館者	前年度 入館者	対前年	
	一般	大高	小中	計	一般	大高	小中	計	障がい	介護	高齢	優待									計
4月	104	5	22	131	0	0	0	0	0	0	5	0	5	136	47	196	379	27	14.0	918	△ 539
5月	199	8	26	233	0	0	23	23	1	0	7	0	8	264	218	53	535	8	66.9	1,153	△ 618
計	303	13	48	364	0	0	23	23	1	0	12	0	13	400	265	249	914	35	26.1	2,071	△ 1,157

(7) 八戸市内小中学校利用状況

入館日	学校名	人数
5/2	八戸市立吹上小学校5年	133人
	計1校 133人	

※人数は、児童の来館者数。



出張講座の様子



縄文土器等作品の野焼きの様子

4. 事業概要②(平成23年7月10日～)

(1) 常設展示① (常設展示室)

是川縄文館分館の常設展示では、是川遺跡の学史的背景や概要について紹介するとともに、埋蔵文化財センターの役割について解説しており、本館常設展示へのプロローグとなっている。

I 是川遺跡と泉山兄弟

是川遺跡の発掘と保存に大きな功績を残した泉山岩次郎、斐次郎ご兄弟を顕彰し、泉山ご兄弟による是川遺跡発掘の歴史や、考古学研究者たちとの関わり等について紹介する。

II 是川遺跡

是川遺跡を構成する一王寺遺跡(縄文時代前期～中期)、堀田遺跡(縄文時代中期)、中居遺跡(縄文時代晩期)について概要を紹介する。また各遺跡の日本考古学史に残る貴重な発見について解説している。

III 是川遺跡の環境

中居遺跡の花粉分析の成果をもとに、縄文時代晩期の頃の環境について紹介する。また屋外に植栽した縄文時代の植物を散策してもらうよう、植物の種類・地点を図表で示しており、フィールドミュージアムの要素を盛り込んでいる。



常設展示室

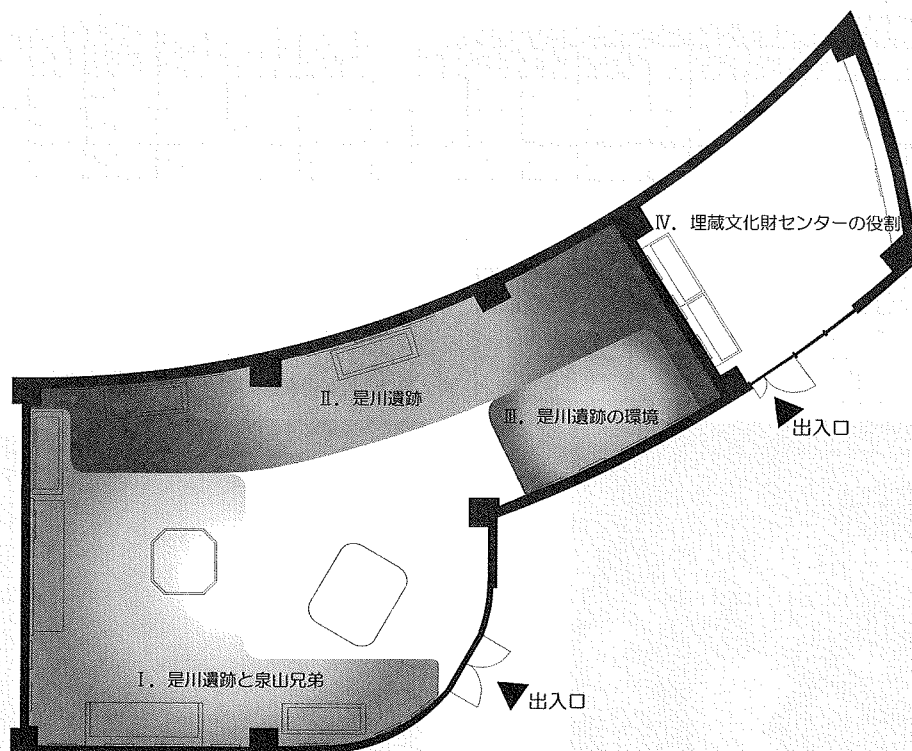
(2) 常設展示② (情報資料室)

IV 埋蔵文化財センターの役割

八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館の機能・役割について紹介する。展示は「埋蔵文化財の保護」、「発掘調査」、「整理作業」、「発掘調査報告書の作成」、「埋蔵文化財の活用と普及」の5項目で構成し、埋蔵文化財保護意識の啓発に努める。また、これまで作成・刊行した八戸市内の遺跡の発掘調査報告書を設置し、閲覧できるようになっている。



情報資料室



展示構成

Ⅲ. 管理運営概要

1. 日記抄

年/月/日	事 項	年/月/日	事 項
H23/5/13	是川縄文館説明会 (ボランティア 33 人)	8/1	火起こし・見学: 八戸市レクリエーション協会 (17 人) 見学: JR 東日本盛岡支社 (4 人)
5/21	泉山コレクション出発式 (30 人)	8/2	縄文土器作り・見学: 久慈市侍浜公民館 (31 人)・ 新郷村教育委員会 (22 人) 見学: 首都圏旅行会社 (17 人) 縄文土器作り: 個人 (2 人)・縄文土器作り: 個人 (2 人)
5/24	講話・合掌土偶作り: (13 人) 講師: 当館館長 於市総合教育センター	8/3	取材: エスエス東京 見学: 徳島県立博物館長 高島芳弘氏
5/25	縄文土器野焼き (22 人)	8/5	見学: 三八五バス (28 人)・音寿園 (26 人)・ 洞内駐在所連絡協議会 (36 人)
5/27	取材: 八戸テレビ	8/6	夏休み縄文体験コーナー (42 人) 企画展考古学講座② (44 人) 講師: 当館館長
5/31	取材: デーリー東北新聞社	8/7	見学: 町畑塾 (7 人) 夏休み縄文体験コーナー (99 人)
6/1	取材: 読売新聞/八戸テレビ	8/9	縄文土器野焼き (18 人) 見学: 野辺地町老人クラブ (35 人)・みどり幼稚園 (11 人) 縄文の布を編む体験: 個人 (2 人) 合掌土偶作り: 個人 (2 人)
6/2	ボランティア養成講座① (37 人) 講師: 当館学芸員	8/10	見学: おいらせ町学校給食運営委員 (20 人)・南郷公民館 (26 人)
6/7	取材: 八戸テレビ (2 人)	8/11	見学: 高円宮妃殿下 (13 人)・子どもの城保育園 (34 人) 取材: 企業組合ユキバル
6/9	ボランティア養成講座② (37 人) 講師: 当館学芸員 取材: 東奥日報社・県企画調整課政策調整グループ (5 人)	8/12	縄文土器作り・見学: 島守小 6 年 (22 人)
6/10	ボランティア学習会① (21 人) 講師: 三條目稔氏	8/14	夏休み縄文体験コーナー (69 人)
6/11	ボランティア学習会② (19 人) 講師: 三條目稔氏	8/17	見学: デイサービスやわた (17 人) 縄文土器作り: 個人 (5 人)
6/16	ボランティア養成講座③ (37 人) 講師: 当館学芸員	8/18	見学: デイサービスやわた (12 人)
6/17	ボランティア学習会③ (20 人) 講師: 白石芳美氏	8/19	見学: アネックス妙光園 (21 人)・デイサービスやわた (18 人)
6/18	ボランティア学習会④ (19 人) 講師: 鶴ヶ崎誠氏	8/20	見学: AAF 世界ネットワークプロジェクト国際シンポジウム (22 人)・岩手県立博物館セミナー (49 人)・夏休み縄文体験コーナー (41 人) 企画展考古学講座③ (38 人) 講師: 工藤竹久氏
6/21	縄文土器作り: 白銀小 6 年 (56 人) 於学校	8/23	見学: 八戸市老人クラブ連合 (35 人)・ベルエポック (19 人)・三戸老人クラブ (20 人)・ニチケアセンター (39 人)・デイサービスセンターフェニックス (12 人)・あいたすデイサービスセンター (15 人)
6/24	ボランティア学習会⑤ (16 人) 講師: 島田節子氏	8/24	見学: 修光園 (11 人)・ニチケアセンター (38 人)・デイサービスばんちょう (35 人)・あいたすデイサービスセンター長老園 (13 人)・デイサービスセンターフェニックス (6 人)・博物館実習生 (10 人)・火起こし: 是川小 5 年 (6 人) 縄文まつり練習
6/25	ボランティア学習会⑥ (16 人) 講師: 山田信春氏	8/25	見学: 城南クラブ (13 人)・八戸短大付属幼稚園 PTA (17 人)・デイサービスセンターフェニックス (12 人)・あいたすデイサービスセンター (16 人) 縄文土器作り・見学: 美保野中学 (4 人) 土製耳飾り作り・見学: 階上町立道仏小 6 年 (21 人) 縄文土器作り・見学: 東北学院大学考古学研究所 (29 人) 取材: ATV
6/27	内覧会 (29 人)	8/27	第 16 回八戸これかわ縄文まつり (500 人) 会場: 分館 縄文まつり体験コーナー (210 人) 縄文土器野焼き (7 人)
6/28	取材: デーリー東北新聞社	8/28	見学: 南極観測船しらせ (31 人) 日曜日縄文体験コーナー (29 人)
6/30	取材: 東奥日報社・デーリー東北新聞社	8/30	合掌土偶作り: 是川小 4 年 (32 人) 見学: 青森大学講座 (23 人)
7/1	内覧会 (132 人) 取材: 八戸テレビ	8/31	見学: 勾玉作り: 一戸町保健推進委員協議会 (33 人)・鉾地区社会福祉協議会 (42 人)・青森ワークキャンパス (6 人) 縄文土器作り: 是川小学校 6 年 (48 人)
7/2	内覧会 (135 人)	9/1	縄文土器作り: 是川小 5 年 (46 人)・是川東小 3・5 年 (4 人) 見学: 御所野遺跡ボランティア協議会 (41 人)・本庁監査委員会 (8 人)
7/3	内覧会 (213 人)	9/2	板状土偶作り・見学: 是川小 2 年 (43 人)・是川東小 1・2 年 (4 人) 見学: 葛巻町教育委員会 (9 人)・八戸市南郷歴史民俗資料館 (17 人)・桔梗野幼稚園 (46 人) 縄文の布を編む講座 (4 人) 講師: 当館学芸員・縄文是川ボランティア
7/5	取材: デーリー東北新聞社	9/3	視察: 中華人民共和国蘭州市 (10 人)
7/7	取材: 河北新報・デーリー東北新聞社	9/4	日曜日縄文体験コーナー (27 人) 取材: 八木橋廣吉写真スタジオ 見学: 八木山の会 (13 人)・大阪府高齢者大学校 (30 人)・上長健康づくり推進協議会 (41 人) 火起こし: 是振運動会点火式 (3 人)
7/10	是川縄文館開館記念式典 日曜日縄文体験コーナー開始 (37 人) 見学: 東北地区居合道連盟 (22 人)・陽だまりクラブ (22 人)	9/6	見学: 県議会文教公安委員会 (14 人)・八戸市タクシー協会 (121 人)・NHK文化センター (28 人) 縄文土器作り: 三戸町斗川小学校 5 年 (13 人) 取材: デーリー東北新聞社 (3 人)
7/11	合掌土偶作り・見学: 南部町立南部小 6 年 (20 人)	9/7	見学: 八戸市タクシー協会 (117 人)・市野沢小学校教職員 (11 人) 縄文土器作り: 是川小 3 年 (47 人)
7/12	縄文土器作り・見学: 五戸町立上市川小・切谷内小 6 年 (42 人)・階上町立石鉢小 6 年 (54 人) 見学: 七戸町立天間東小 5 年 (22 人)	9/8	見学: 八戸市タクシー協会 (127 人)・八戸市社会福祉協議会南郷支局 (45 人)・八戸工業高等専門学校職員 (5 人) 縄文土器作り・見学: 十和田市十和田湖小学校全学年 (24 人) ペンダント作り・見学: 是川小 1 年 (34 人)
7/14	縄文土器作り・見学: 旭ヶ丘小 6 年 (79 人) 見学: 弘実会 (21 人)		
7/15	見学: 是川公民館 (102 人)・青森県あすなろ友の会 (7 人)・吹上公民館体操クラブ (20 人)・おいらせ町食生活改善推進委員会 (24 人)・ペンダント作り・見学: 鮫小 5 年親子レク (122 人)		
7/17	開館記念講演会 (127 人) 講師: 岡村道雄氏 見学: 電力中央研究所 (6 人)・たてごし長寿会 (34 人)・野辺地町歴史をさぐる会 (24 人) 縄文土器作り: 第二桜ヶ丘子ども会 (40 人) 日曜日縄文体験コーナー (33 人)		
7/18	見学: 弘前市立観野公民館 (52 人)・漆高台やまぶき会 (37 人)		
7/20	見学: 多賀台社会福祉協議会 (32 人)・柿崎公民館 (22 人)		
7/21	見学: つがる市 NPO 法人つがる縄文会 (28 人)・おいらせ町環境保全課 (18 人)		
7/22	見学: 八戸市老人クラブ連合会 (40 人)・上北地方教育研究会社会科部会 (35 人)		
7/23	見学: 洲先町内会いきいきサロン老人クラブ (30 人)・日立オムロン (22 人)・取材: 日本経済新聞社・東奥こども新聞第 25 号 夏休み縄文体験コーナー (40 人) 世界文化遺産講座 (14 人) 講師: 当館学芸員 於大湯ストーンサークル館		
7/24	見学: 老人ホームほおずき (14 人)・日蓮宗蓮華寺 (79 人) 火起こし・見学: 東根城子ども会 (20 人) 縄文土器作り・見学: 豊崎小親子レク (29 人) 夏休み縄文体験コーナー (70 人)		
7/26	見学: 八戸市社会科教育研究会 (107 人)・十和田市寿大学 (59 人) 取材: コミュニティー放送局 BeFM		
7/27	見学: 新郷村納税貯蓄組 (22 人)・みちくさ会 (20 人)		
7/28	取材: 新潮社芸術新潮・東奥こども新聞第 25 号 見学: 教育同友会 (12 人) 縄文土器野焼き (19 人)		
7/29	取材: SUS 広報誌 見学: 小中野シニアいきいき講座 (54 人) 講話・見学: 道徳研究会 (13 人) 講師: 当館学芸員		
7/30	企画展考古学講座① (45 人) 講師: 水ノ江和同氏 見学: 夏休み縄文体験コーナー: 九戸村立山根小 3 班子ども会 (16 人) 夏休み縄文体験コーナー (53 人)		
7/31	見学: みちしま会 (12 人) 夏休み縄文体験コーナー (71 人)		

9/9	縄文土器作り・見学：白山台中学1年(153人)	10/6	(19人)縄文土器作り・見学：デーリー東北販売会婦人部(27人)
9/10	縄文土器作り教室(3人) 見学：(株)友伸エンジニアリング(6人)・北海道・東北保存科学研究会第23回例会開催(22人) 八戸自由大学第12回講座(20人) 講師：当館館長 於吉田産業本社	10/7	見学：青森県立八戸西高(243人)・野辺地町交通安全母の会連合会(24人)・みどり幼稚園(20人)・上北療護園生活介護センター(18人)・根城老人クラブ(15人)・青森県内市議会事務局研修会(13人)・デイサービスセンター修光園(18人)
9/11	見学：八戸市肢体障がい者福祉会(30人)・北海道・東北保存科学研究会(21人) 日曜日縄文体験コーナー(18人)	10/8	見学：小菊荘(5人)・デイサービスセンター修光園(21人)
9/12	取材：七戸町教育委員会生涯学習課	10/9	見学：東京大学(4人) 日曜日縄文体験コーナー(34人)
9/13	見学：あっとホームゆらくや(9人)・デイサービスセンターフェニックス(7人)・三八五ロジステックス(株)(4人)・サンシャインデイサービス(15人) 縄文土器作り：城下小5年(52人) 於学校 縄文土器作り・見学：南郷公民館絵手紙クラブ(11人) 撮影：イエローツー 取材：北海道新聞函館支社	10/10	見学：白銀南小5年(11人)
9/14	見学：あっとホームゆらくや(8人)・函南保育園(37人)・南浜中学職員(2人)・サンシャインデイサービス(21人)・デイサービスセンターフェニックス(12人)・老人クラブ寿光会(20人)・洋光台いきいきサロン(9人)・階上町階上小教職員(7人)	10/12	見学：いきいきサロン旭ヶ丘(25人)・八戸商工会議所女性の会(16人)・私立向陵高全学(38人)・花巻市東和ふるさと歴史資料館(66人) 講演(50人) 講師：当館学芸員：於田面木公民館 縄文土器作り・見学：三沢市ソラーズ小6年(29人)
9/15	見学：デイサービスセンターフェニックス(10人)・二戸市石切所公民館(26人)・JR八戸地区サービス推進会議(19人)・九戸村教育委員会(27人)・七戸町文化ガイド(7人)・サンシャインデイサービス(20人)／あっとホームゆらくや(6人)・はっちフロアガイド(15人)・ワーク柿の木苑(11人)・天間林史跡勉強会(3人)・特別養護老人ホームサンシャイン(20人)	10/13	見学：退公連十和田分会(49人)・デイサービスセンターフェニックス(4人)・みなみるいけの家(5人)・ひまわりの家(18人) 特別展内覧会：マスコミ関係(14人) 縄文土器作り・見学：十和田市立米田小・大不動小・滝沢小5・6年(38人)
9/16	見学：サンシャインデイサービス(18人)・デイサービスセンターフェニックス(6人) 火起こし・見学：みどり幼稚園(32人)	10/14	見学：ワークランドつばさ(28人)・青梅市きもの博物館副館長(2人)・みなみるいけの家(5人)・デイサービスセンターフェニックス(4人) 縄文土器・ペンダント作り・見学：うみねこ教室(25人) 取材：北海道新聞 特別展内覧会：是川ボランティア(18人)
9/17	サンシャインデイサービス(11人)・デイサービスセンターフェニックス(6人) 縄文土器作り：階上町教育委員会(27人) 於ハートフルプラザはしかみ	10/15	見学：盛岡本宮第一町内会(58人)・南部町玉掛ほのぼの会(25人) 大湯ストーンサークル館(31人) 取材：デーリー東北新聞社
9/18	日曜日縄文体験コーナー(28人) 撮影：個人(1人)	10/16	縄文土器作り：階上町立大蛇小4年(22人) 日曜日縄文体験コーナー(39人)
9/21	縄文土器作り・見学：南浜中学全学年(71人) 見学：洋野町地域活動交流センター(31人)・八戸在宅クリニック(9人)・多賀小6年(25人)・森木小6年(11人)	10/18	見学：東北町高齢者いきいき教室(50人)・南山苑(11人) 縄文土器作り：県立八戸第二養護学校(13人)：於学校 縄文土器作り・見学：三沢市ソラーズ小6年(25人) 取材：八戸市観光課
9/22	見学：八戸在宅クリニック(12人)・新郷村西越小全学(43人)・八戸東消防署防火協会研修会(38人)・仙台市縄文の森広場ボランティア(3人)・オリエントツアー楽晴会(22人)・世界遺産登録推進会議(21人)・湊中学1年(159人) ペンダント作り・見学：根城小5年(72人)	10/19	見学：デイケアセンターわの里(45人)・南山苑(12人)・みなみるいけの家(5人) 撮影：青森県総合社会教育センターあおもり県民カレッジ事務局(3人) 縄文土器野焼き(16人)
9/23	見学：八戸在宅クリニック(10人)・田子町立田子中学PTA研修委員会(20人)	10/20	縄文土器作り・見学：南部町向小6年(37人) 見学：県教育厚生会退職互助会上北支部(27人)・八戸工業高等専門学校(3人)・県立八戸第一養護学校(29人)・みなみるいけの家(3人) 取材：コミュニティ放送局BeFM(3人)
9/24	縄文土器作り：個人(9人) 見学：八戸在宅クリニック(8人)・青森古文書解読研究会(35人) 取材：東奥日報社八戸支社 撮影：まちづくり文化推進室南郷アートプロジェクト「ダンスプロモーションビデオwithジャズ」(6人)	10/21	見学：金浜小2～6年(18人)・五戸町防犯協会婦人部(24人) 視察：三内丸山整備推進室(3人)
9/25	見学：グループホームほおずき(6人)・放送大学青森学習センター(37人) 日曜日縄文体験コーナー(15人)	10/22	トチの実を食べる教室(6人) 於分館 火起こし・見学：柿の木苑(17人) 見学：三沢市教育委員会(2人)・吹上小広報PTA(10人)
9/27	見学：新井田小6年(100人)・ほうりん保育園(34人)・六戸町立六戸中学1年(11人)・宮城県芸術協会(34人)・寿楽荘デイサービス(13人)・八戸在宅クリニック(6人) 縄文土器作り講座①(12人) 講師：当館館長	10/23	日曜日縄文体験コーナー(18人) 見学：くんのこほっば愛好会(38人) 特別展考古学講座①(62人) 講師：原田昌幸氏
9/28	見学：高教研社会地歴公民科部会三八地区研修会(13人)・寿楽荘デイサービス(15人)・下北を知る会(10人)・水沢公民館出たきり朗人の会(45人)	10/25	見学：長者公民館高齢者教室(25人)・デイケアおっとも(15人) 伝法寺(24人)・大館婦人連合会(38人)・大館市文化財保護協会(20人) 縄文土器作り・見学：県立第二養護学校5年(13人)
9/29	見学：寿楽荘デイサービス(15人)・松平病院(22人)	10/26	見学：デイケアおっとも(14人)・河北町商工会(20人) 火起こし・勾玉作り等：県立八戸第二養護学校1・3年(23人) 講話：食品衛生協会(280人) 講師：当館学芸員：於八戸プラザアーバンホール 講話：青森中央学院大学講座(120人) 講師：館長 於大学
9/30	見学：寿楽荘デイサービス(11人)・県立八戸第一養護学校(10人)・三八城ヨガクラブ(23人) 縄文土器作り講座②(14人) 講師：館長	10/27	見学：江陽公民館(11人)・葛巻町公民館(15人)・デイケアおっとも(19人)・三内丸山応援隊ボランティア(35人) 縄文土器作り・見学：三沢市ソラーズ小6年(24人)
10/1	見学：明治安田生命労働組合(97人)／明治大学博物館友の会(27人) 縄文土器野焼き：階上町教育委員会(42人) 於階上町民俗資料収集館	10/28	見学：デイケアおっとも(13人)・鳴沢自治会(16人) 縄文土器作り講座③(19人) 講師：当館学芸員 講話・見学：県教育庁教育事務所社会教育担当者会議(12人) 講師：当館館長
10/2	日曜日縄文体験コーナー(23人)	10/29	見学：デイケアおっとも(13人)／三内丸山ボランティアガイド(24人) 特別展考古学講座②(44人) 講師：藤沼邦彦氏
10/3	見学：大館公民館遠野地区連合協議会(18人)／階上町連合PTA(20人) デイサービスセンター修光園(16人)	10/30	見学：鹿角パークホテル(12人)・社会福祉法人平成会介護付有料老人ホームシニガル(12人) 日曜日縄文体験コーナー(29人)
10/4	見学：八戸市老人クラブ鹿友会(26人)・デイサービスセンター修光園(16人)・江陽一丁目町内会(18人)・八戸地域防災協会三戸ブロック(22人) 遮光器土俵頭部の皿作り・見学：十和田あゆみ保育園(21人)	11/1	見学：セインズベリー日本文化研究所所長・妙水苑デイサービス(15人)・滝内民生委員児童委員協議会(21人)・花輪地区民生児童委員協議会(23人) 取材：RAB開発・丹青社
10/5	見学：デイサービスセンター修光園(17人)・NPO法人双松福祉会 欧牛苑(31人)・下長中学1年(19人) 取材：(株)びゅうトラベルサービス(12人)・東奥日報社八戸支社 火起こし・見学：洋野町立城内小学全学(42人) 縄文土器作り・見学：三戸郡退公連女性部(6人)	11/2	見学：小中野小6年(72人)・消防本部(78人)・妙水苑デイサービス(15人)・むつ市教委文化財保護審議会(16人)・つがる市観光協会(32人) 縄文土器作り・見学：松館小5・6年(8人)
10/6	見学：(財)科学教育研究会オーストラリア教師(13人)・上北療護園生活介護センター(23人)・デイサービスセンター修光園	11/3	観覧料無料開放日(はちのへ教育週間事業) 見学：長者コミュニティ(96人) 遮光器土俵頭部の皿作り・見学：三沢市カミングス小(53人)
		11/4	見学：青森県都市ガス協会(6人) ペンダント作り・見学：県立八戸第二養護学校1～3年(11人) テラコッタ野焼き：是川中・小・是川東小合同(266人) 於是川中学 講話・見学：鶴盟大学(50人) 講師：当館館長
		11/5	見学：はしかみキャンパス(23人)・市民活動サポートセンターわいぐ(26人)・小中野公民館(9人)・おいらせサポートハウスKの家(20人) 縄文土器・ペンダント作り・勉強会・見学：阿光坊古墳群保存会(14人) 特別展考古学講座③(39人) 講師：山田昌久氏

11/6	見学：旭ヶ丘四丁目婦人部 (27 人)・八戸医療生協根城支部 (16 人) 火 起こし・見学：吹上おやじの会 (27 人) 冬季日曜日縄文体験コーナー (28 人)	1/14 1/15 1/17 1/18 1/21	見学：白座子ども会 (9 人) 考古学講座③ (52 人) 講師：大島直行氏 冬季日曜日縄文体験コーナー (14 人) ボランティア養成講座① (28 人) 講師：館長 講話：南郷公民館高齢者教室 (20 人) 講師：館長 於公民館 縄文の布を編む教室 (1 人) ボランティア養成講座② (30 人) 講師：当館学芸員 冬季日曜日縄文体験コーナー (9 人) 視察：三沢市教育委員会 (2 人) ボランティア養成講座③ (30 人) 講師：当館学芸員
11/7	見学：野辺地町下袋町長生会 (27 人) ペンダント作り・見学：田面木小 6年親子学習 (94 人) ペンダント作り・見学・講話：八戸商業高2年 (41 人) 講師：当館学芸員	1/22 1/24	見学・ペンダント作り：八戸工業専門高等学校2年 (181 人) 見学：新郷村教育委員会 (8 人)
11/8	見学：七戸南公民館柏葉大学 (30 人)・むつ市シルバー人材センター (40 人) 取材：青森朝日放送・欄キーフレーム (5 人)	1/27 1/28 1/29 1/31	見学：さいたま市市議会議長会 (11 人) ボランティア養成講座④ (30 人) 講師：当館学芸員 見学：弘南観光開発 (30 人) 冬季日曜日縄文体験コーナー (7 人) ボランティア養成講座⑤ (29 人) 講師：当館学芸員
11/9	見学：旧盛岡藩士桑田青森支部 (13 人)・県史跡整備協議会 (13 人) 撮影： まちづくり文化推進室南郷アートプロジェクト「ダンスプロモーション ビデオ with ジャズ」	2/1 2/3 2/4	見学：階上町連合婦人会 (33 人) 見学：八戸地域防災協会五戸部会 (41 人) 取材：中天テレビ公司 (台湾 6 人) 視察：青森県立郷土館 (3 人) ボランティア養成講座⑥ (26 人) 講師：栗村知昭氏 冬季日曜日縄文体験コーナー (8 人)
11/10	見学：二戸市埋蔵文化財センター (31 人)・根岸小6年 (28 人) ペンダント作り・見学：田代中学1年 (7 人)・八戸市お話しデザイナー ビスかぶしま (20 人) 見学・総会・講話：高教研地歴公民部会二戸支 部 (8 人) 講師：当館学芸員	2/5 2/6 2/7 2/8	見学：山手本町あじさいの会 (37 人) / 階上町教育委員会所属階上町歴史 講座 (23 人) 平成 23 年度遺跡報告会 (100 人)
11/11	見学：全中協北海道・東北支部担当課長・係長会議開催幹事都市 (10 人)・ 松平病院デイケア (21 人)・鮫中学3年 (114 人)・青森県議会建設委員 会 (11 人) / 第一中学1年 (41 人) 講演：八戸市民病院医療・技術会 (30 人) 講師：当館館長：於病院 撮影：まちづくり文化推進室南郷ア ートプロジェクト「ダンスプロモーションビデオ with ジャズ」	2/11 2/12 2/14 2/15	見学：盛岡大学 (20 人) 取材：TBS (5 人) 考古学講座④ (68 人) 講師：鈴木三男氏 火起こし・見学：田面木小6年 (4 人) 冬季日曜日縄文体験コーナー (7 人) ボランティア養成講座⑧ (23 人) 講師：当館学芸員 縄文是川ボランティア博物館研修 (仙台市) (16 人) 引率：当館学芸員 取材：瑞光園 (1 人)
11/12	見学：山手本町あじさいの会 (37 人) / 階上町教育委員会所属階上町歴史 講座 (23 人) 平成 23 年度遺跡報告会 (100 人)	2/16 2/17	取材・撮影：(株) 近代建築社 火起こし・見学：階上町立大蛇小5・6年 (26 人) 火起こし：田面木小6年 於かがり火えんぶり市庁前広場
11/13	見学：むつ市文化財ボランティア (8 人) 冬季日曜日縄文体験コーナー (26 人)	2/18	見学：八戸商工会議所 (岩手・宮城県復興関連事業)「えんぶりと国宝をめぐ る旅」(43 人)・東奥日報社観光部 (16 人) ボランティア養成講座⑨ (19 人) 講師：後村弘樹氏
11/16	見学：上長公民館 (37 人) 取材：日本経済新聞社	2/19	見学：八戸商工会議所 (岩手・宮城県復興関連事業)「えんぶりと国宝をめぐ る旅」(38 人)・びゅうプラザ仙台台体旅行センター「幹送おこえんぶり」 (29 人) 火起こし・見学：八戸地域グリーンツーリズム推進協議会「オ ラガ大雄夢広場」(26 人) 冬季日曜日縄文体験コーナー (8 人)
11/17	見学・講話：吹上公民館市社会福祉協議会 (18 人) 講師：館長	2/20 2/21 2/22	見学：八戸商工会議所 (復興関連事業)「えんぶりと国宝をめぐる旅」(22 人) 見学：八戸商工会議所 (復興関連事業)「えんぶりと国宝をめぐる旅」(21 人) 見学：二戸金田ーコミュニケーションセンター女性教室 (38 人)・岩手県立 種市高1年 (101 人)・旭会 (17 人) 火起こし・見学：是川児童館 (3 人) ボランティア養成講座⑩ (10 人) 講師：後村弘樹氏
11/18	見学：吹上公民館 (33 人) 合掌土偶作り：南部町立名川南小5・6年 (14 人) 見学・講演：県立種差少年自然の家 (24 人) 講師：当館館長	2/25	勾玉作り・火起こし・見学：喜久吉塾スクール (26 人) 縄文土器作り教室 (7 人) ボランティア学習会① (22 人) 講師：縄文是川ボランティア
11/19	青森県考古学会秋季大会開催・講話 (40 人) 講師：当館館長	2/26	見学：東北観光博覧会アドバイザー (6 人) 冬季日曜日縄文体験コーナー (3 人)
11/20	見学：ファンベルク菴 (9 人) 冬季日曜日縄文体験コーナー (12 人) 見学・ 縄文土器作り：洋野町種市放課後児童クラブドリームキャンパス (30 人)	2/28 2/29	見学：九戸村教育委員会 (3 人) 見学：青森観光コンベンション協会 (4 人) 取材：青森県企画制作部企画調整課 (2 人)
11/22	見学：根岸小総務委員 (20 人)・國學院大學文学部 (7 人)	3/1 3/3	ボランティア学習会② (22 人) 講師：縄文是川ボランティア 取材：青森朝 日放送 (2 人) 視察：東京都多摩市豊ヶ丘小学校・パルテノン多摩 (5 人)
11/23	見学：エルス (21 人)・びあ三沢 (30 人)	3/4 3/7 3/8 3/9 3/10	取材：青森朝日放送 (7 人) 見学：南部町身体障がい者福祉会 (18 人) 見学：クラブツーリズム (株) (14 人) 縄文土器作り：個人 (1 人) 見学：宝の森 (13 人) 縄文土器作り教室 (5 人) ボランティア学習会③ (22 人) 講師：縄文是川ボランティア
11/25	見学：山脈句会 (14 人)・信愛会さくら病院デイケア (24 人)・ほっとハウ スデイセンター (20 人) 見学・講話：青森県高等学校教頭・副校長会 定通部会「秋季研究」(20 人) 講師：当館館長 縄文土器野焼き (14 人)	3/11 3/15 3/16 3/17 3/19	見学・火起こし：袴田分館 (14 人) 見学：秋田市教育委員会文化振興室 (1 人) 見学：國學院大學 (5 人) ボランティア学習会④ (22 人) 講師：縄文是川ボランティア 縄文土器作り：個人 (7 人)
11/26	ドングリを食べる教室 (6 人) 於分館	3/22	ボランティア養成講座⑪ (17 人) 講師：当館学芸員 取材：八戸テレビ (4 人)
11/27	見学：石手洗子ども会 (27 人) 冬季日曜日縄文体験コーナー (18 人)	3/25 3/27	見学：南浜地区社会福祉協議会 (2 人) ボランティア養成講座⑫「博物館研修 (滝沢村・盛岡市)」(31 人) 引率：当館学芸員
11/29	見学：十和田商工会議所 (12 人)・東地区民生委員会 (16 人)・町畑小4年 (42 人)	3/31	ボランティア学習会⑤ (23 人) 講師：縄文是川ボランティア
11/30	見学：くるみの里 (34 人) 三圏域連携懇談会 (33 人) 取材：NHK (3 人)		
12/1	見学：根城ヨガクラブ (26 人)・山友会 (16 人) 見学・遮光器土偶頭部 の皿作り：三沢市ソラーズ小2年 (57 人)		
12/2	見学：弘前市文化財保護課 (3 人)・礎盟大学 (12 人) 見学・遮光器土偶 頭部の皿作り：三沢市ソラーズ小2年 (55 人)		
12/3	見学：白山台小学童保育 (26 人) 見学・縄文の布を編む体験：明治小6年 (74 人)		
12/4	考古学講座① (34 人) 講師：辻誠一郎氏 冬季日曜日縄文体験コーナー (8 人)		
12/6	見学：八戸東消防署 (17 人) 見学・取材：縄文土器作り：町畑小5年 (17 人)		
12/7	見学：矢沢老人クラブ (34 人)		
12/8	見学：八戸工業大学第一高3年 (306 人)・市野沢婦人会 (24 人) 講演：小中野公民館高齢者学級 (60 人) 講師：当館学芸員 於公民館		
12/9	見学：RAB開発 (2 人)		
12/10	縄文土器の拓本教室 (2 人)		
12/11	見学：北東北古代集落遺跡研究会 (12 人) 冬季日曜日縄文体験コーナー (6 人)		
12/13	見学：またたびくらぶ東奥日報社観光部 (32 人)・県農業電力協会 (12 人)		
12/15	取材：BSフジ「発見！日本の旅ウォーク」欄NEXTEP (3 人)		
12/17	考古学講座② (43 人) 講師：高橋龍三郎氏		
12/18	冬季日曜日縄文体験コーナー (3 人)		
12/22	見学：福島市教育委員会 (2 人)・岩手県北観光 (20 人) 講話：八戸中央 ライオンズクラブ例会 (30 人) 講師：当館館長 於八戸グランドホテル		
12/23	見学：青森県国際交流協会 (13 人)		
12/25	冬季日曜日縄文体験コーナー (14 人)		
H24/1/5	見学・縄文土器作り：山鳩子ども会 (38 人)		
1/8	冬季日曜日縄文体験コーナー (14 人)		
1/11	見学・勾玉作り：いきがし中央大学 (25 人)		

2. 来館者利用状況

月	個人			計	団体			計	減免入館者				計	有料 観覧者	全額免除 観覧者	講座等 入館者	本入館者 総計	開館 日数	平均 入館者	分入館者 総計	総計
	一般	大高	小中		一般	大高	小中		障がい	介護	高齢	優待									
7月	3,732	70	170	3,972	890	0	141	1,031	67	40	585	10	702	5,705	1,047	425	7,177	20	359	854	8,031
8月	4,220	223	555	4,998	466	59	62	587	107	77	530	5	719	6,304	1,683	473	8,460	27	313	1,312	9,772
9月	2,217	53	90	2,360	882	30	58	970	123	67	311	0	501	3,831	1,230	207	5,268	27	195	546	5,814
10月	2,468	38	60	2,566	907	262	180	1,349	152	68	675	4	899	4,814	782	234	5,830	27	216	837	6,667
11月	1,879	25	41	1,945	394	84	30	508	159	56	477	1	693	3,146	2,221	116	5,483	26	211	639	6,122
12月	461	9	17	487	183	290	87	560	2	2	106	0	110	1,157	229	100	1,486	23	65	195	1,681
1月	529	16	36	581	44	178	5	227	11	6	42	0	59	867	163	217	1,247	23	54	60	1,307
2月	529	9	4	542	163	112	28	303	7	4	27	3	41	886	279	193	1,358	26	52	73	1,431
3月	686	37	48	771	23	0	0	23	37	8	35	2	82	876	215	123	1,214	28	43	98	1,312
計	16,721	480	1,021	18,222	3,952	1,015	591	5,558	665	328	2,788	25	3,806	27,586	7,849	2,088	37,523	227	165	4,614	42,137

3. 八戸市内小中学校利用状況

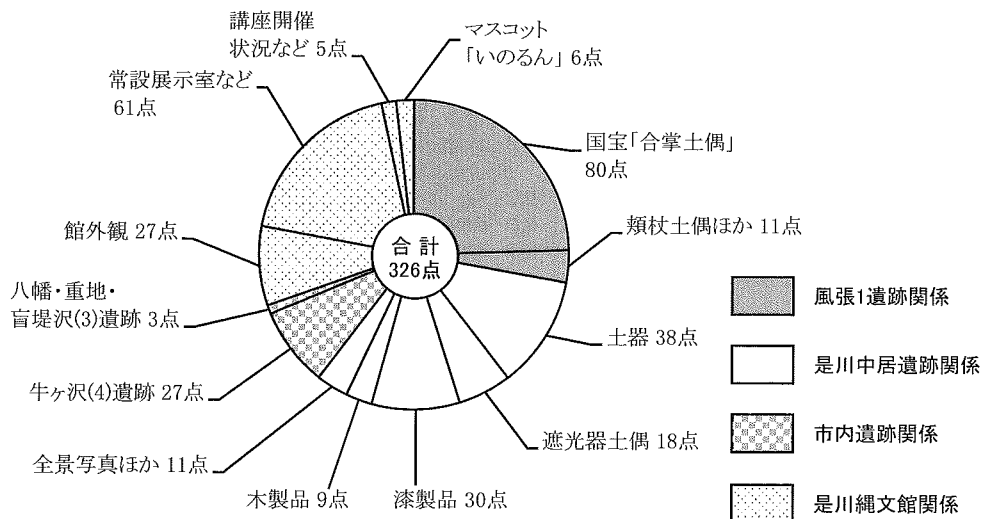
入館日	学校名	人数	入館日	学校名	人数	入館日	学校名	人数	入館日	学校名	人数
7/14	旭ヶ丘小学校6年	76人	9/21	南浜中学校1年	24人	10/20	第一養護学校	17人	11/4	第二養護学校1年	2人
7/15	鮫小学校5年	73人	9/21	南浜中学校2年	16人	10/21	金浜小学校2年	2人	11/4	第二養護学校2年	6人
7/24	豊崎小学校6年	7人	9/21	南浜中学校3年	22人	10/21	金浜小学校3年	1人	11/4	第二養護学校3年	1人
8/12	島守小学校6年	11人	9/21	多賀台小学校6年	23人	10/21	金浜小学校4年	1人	11/7	田面木小学校6年	49人
8/25	美保野中学校3年	3人	9/22	根城小学校5年	68人	10/21	金浜小学校5年	3人	11/10	田代中学校1年	3人
8/26	明治中学校1年	35人	9/22	湊中学校1年	151人	10/21	金浜小学校6年	4人	11/10	根岸小学校6年	23人
9/2	是川小学校2年	40人	9/27	新井田小学校6年	96人	10/25	第二養護学校5年	9人	11/11	鮫中学校3年	109人
9/2	是川東小学校1年	1人	9/30	第一養護学校5年	4人	10/26	第二養護学校1年	10人	11/11	第一中学校1年	40人
9/2	是川東小学校2年	1人	9/30	第一養護学校6年	3人	10/26	第二養護学校3年	9人	11/29	町畑小学校4年	39人
9/8	是川小学校1年	30人	10/5	下長中学校1年	18人	11/2	小中野小学校6年	70人	12/3	明治中学校6年	37人
9/9	白山台中学校1年	144人	10/10	白銀南小学校5年	10人	11/2	松館小学校5年	3人	12/6	町畑小学校5年	16人
9/21	轟木小学校1年	10人	10/14	うみねこ教室	18人	11/2	松館小学校6年	3人	2/12	田面木小学校6年	3人
計48校					1,344人						

4. 資料利用状況

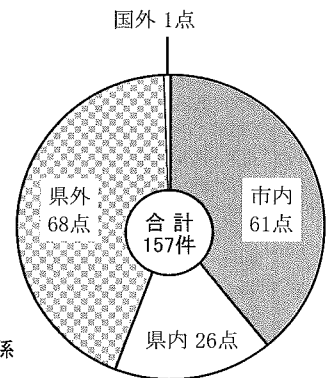
(1) 映像資料

平成23年度は157件、合計326点の映像資料の貸し出し依頼があった。種類別では、風張1遺跡と是川中居遺跡の出土品で半分を占める。特に国宝「合掌土偶」関係が80点と最も多く、県内外を問わず各メディアに利用されている。また是川縄文館の開館初年度ということもあり、是川縄文館施設関係写真の貸し出し依頼も多く見られた。

映像資料利用種別内訳



映像資料利用依頼先内訳



平成23年度映像資料利用依頼一覧

No.	申請者名	資料名	点数	利用方法	許可	掲載先
1	明治大学博物館	是川中居遺跡「赤漆塗り注口土器」ほか	4	写真貸与・展示	4/21	特別展『漆器 JAPANWARE』
2	NPO法人三内丸山縄文発信の会	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	4/28	雑誌『縄文ファイル187号』
3	三八五観光(株)	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	4/28	旅行商品パンフレット
4	(株)アム・プロモーション	是川中居遺跡土器集合ほか	6	写真貸与・掲載	5/13	2012年版カレンダー『縄文土器』
5	東京書籍(株)	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真転載	5/20	指導用デジタル教科書『中学校社会 歴史』
6	東北芸術工科大学	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	5/20	講座チラシ『災害と縄紋-自然へのいのり』
7	NPO法人三内丸山縄文発信の会	是川中居遺跡「赤漆塗り土器」集合ほか	2	写真貸与・掲載	5/26	雑誌『縄文ファイル188号』
8	八戸市観光課	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真貸与・展示	6/1	八戸ポータルミュージアム「はっち」観光展示
9	岩手県立博物館	風張1遺跡「合掌土偶」ほか	2	写真貸与・掲載	6/1	考古学セミナー「募集チラシ」配布資料
10	(株)小学館	是川中居遺跡「石器」	1	写真貸与・掲載	6/2	電子辞書版『日本歴史大辞典』
11	是川郵便局	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真貸与・意匠使用	6/3	風景印の図案作成
12	是川郵便局	是川縄文館外観ほか	2	写真貸与・意匠使用	6/3	小型記念通信日付印の図案作成
13	読売新聞八戸支局	風張1遺跡「合掌土偶」出土状況	1	写真貸与・掲載	6/7	読売新聞青森版連載『時の筆語り』
14	(株)アート・エフ	是川中居遺跡「遮光器土偶」	1	写真転載	6/10	駿台文庫刊『2012年センター過去問題集 日本史B』
15	読売新聞八戸支局	大山史前学研究所是川遺跡発掘風景	1	写真貸与・掲載	6/15	読売新聞青森版連載『時の筆語り』
16	(株)八戸テレビ放送	是川縄文館外観ほか	7	写真貸与・掲載	6/15	番組情報誌『コミュニティーチャンネル7月号』
17	コミュニティ放送局(株)ビーエフエム	是川縄文館外観ほか	4	写真貸与・掲載	6/17	番組表『Be 7~9月版』
18	(株)エディット	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	6/22	PHP研究所刊『日本と世界の歴史 対比絵辞典』
19	(株)DNP東北	是川縄文館外観	1	写真貸与・掲載	6/22	青い森信用金庫2011年版ディスクロージャー誌
20	読売新聞八戸支局	是川中居遺跡「藍胎漆器」	1	写真貸与・掲載	6/28	読売新聞青森版連載『時の筆語り』
21	(株)創童舎	是川縄文館外観ほか	2	写真貸与・掲載	6/28	JR東日本青森支店発行パンフレット『青森2011夏版』
22	(株)東銀出版	風張1遺跡「合掌土偶」ほか	3	写真貸与・掲載	6/28	縄文テキスト『縄文文化の魅力』
23	インターネットミュージアム	是川縄文館外観	1	写真貸与・掲載	6/30	博物館情報サイト『インターネットミュージアム』
24	八戸広域観光推進協議会	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	6/30	冊子『河北ウィークリー』
25	(社)八戸観光コンベンション協会	風張1遺跡「合掌土偶」ほか	3	写真貸与・掲載	7/5	ガイドブック『2011年お祭りナビ』
26	(株)秀学社	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	7/10	美術資料集『美術資料』
27	陸上自衛隊八戸駐屯地	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真貸与・展示	7/16	陸上自衛隊八戸駐屯地内防衛館内展示パネル
28	NPO法人三内丸山縄文発信の会	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	7/21	雑誌『縄文ファイル190号』
29	日本経済新聞社	常設展示「合掌土偶」	1	写真撮影・掲載	7/23	特集記事『みちのくの美の心』
30	(株)交通新聞社	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	7/27	JR会員誌『ジバング倶楽部9月号』
31	八戸市社会教育課	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	7/28	学校教育研究所報『学校教育研究所報第94号』
32	(株)新潮社	常設展示	1	写真撮影・掲載	7/28	雑誌『芸術新潮10月号』
33	青森県立三戸高等学校 中嶋 明子	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	7/30	東京家政大学同窓会総会資料
34	八戸工業大学工学部 佐藤 学	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	7/30	チラシ『第3回原子力道場』
35	教育出版(株)	是川中居遺跡「赤漆塗り注口土器」	1	写真貸与・掲載	7/30	平成24年度版中学校社会用教科書
36	東京書籍(株)	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	8/1	教員向け無料会員サイト『東書Eネット』
37	(株)エスエス東京	是川縄文館外観	1	写真撮影・掲載	8/3	申請者HP
38	古賀 和子	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	8/11	「祈り」をテーマとする個展
39	企業組合ユキハル	常設展示	1	写真撮影・掲載	8/11	フリーペーパー『あぼっせ3号』
40	青い森信用金庫	是川縄文館外観	1	写真貸与・掲載	8/12	冊子『青い森しんきんとれんど情報』
41	(株)青森テレビ	是川遺跡出土「木胎漆器」出土状況	1	写真貸与・放送	8/23	番組『おしゃべりハウス』
42	(株)エイティブイビジョン	是川縄文館内	1	テレビ撮影・放送	8/25	青森テレビ番組『この人に』
43	(株)アム・プロモーション	風張1遺跡「合掌土偶」ほか	13	写真貸与・撮影・掲載	8/18	雑誌『月刊ミュージック97号』
44	八木橋広告写真スタジオ	常設展示	1	写真撮影・掲載	9/4	『あおもり紀行2012夏秋号』
45	居酒屋 来るくる	常設展示	1	写真撮影・掲載	9/4	申請者HP
46	エッグプランニング	風張1遺跡「合掌土偶」ほか	2	写真貸与・掲載	9/6	秋田魁新報社発行フリーペーパー『郷(きょう)』
47	是川郵便局	風張1遺跡「合掌土偶」ほか	11	写真貸与・使用	9/6	是川縄文館オリジナルプレラム切手作成
48	栃木県立博物館	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真貸与・展示	9/10	企画展『土偶の世界-縄文人のころ』
49	北海道道民活動文化振興課	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	9/11	解説シート『世界遺産をめざして-北の縄文・パネル展-』
50	七戸町教育委員会生涯学習課	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真撮影・掲載	9/12	デーリー東北新聞連載記事
51	北海道新聞社函館支社	常設展示	1	写真撮影・掲載	9/13	是川縄文館紹介記事
52	八戸市観光課	是川縄文館外観	1	写真貸与・掲載	9/14	八戸市観光HP
53	(財)千里文化財団	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真撮影・掲載	9/14	青森県立郷土館『展示案内』
54	(株)テクノス	常設展示「風張1遺跡土器」ほか	2	写真撮影・掲載	9/16	八戸法人会広報誌『やっほー第111号』
55	関口 昌和	常設展示	1	写真撮影・掲載	9/18	申請者HP
56	八戸市道徳教育研究会	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	9/24	『第25回東北地区小学校道徳教育研究大会』資料
57	東奥日報社八戸支社	是川縄文館内	1	写真撮影・掲載	9/24	是川縄文館紹介記事
58	(株)フレッシュ・アップ・スタジオ	是川中居遺跡「注口土器」ほか	2	写真貸与・掲載	9/28	洋泉社刊『封印された「あづま・みちのく」の古代史』
59	福島市教育委員会	風張1遺跡「類杖土偶」ほか	8	写真貸与・展示	9/28	特別展『縄文人の祈りの世界』
60	(株)青森テレビ	八幡遺跡「男女合葬墓」検出状況ほか	3	写真転載・放送	9/27	番組『おしゃべりハウス』
61	東奥日報社八戸支社	是川縄文館内	1	写真撮影・掲載	10/5	県主催『行くたびあたらしい青森』関連記事
62	鶴岡山遠妙寺 長澤 宏昌	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	10/7	申請者著『埋葬の歴史と現代の散骨』
63	森下 年晃	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	10/7	申請者著『地震・津波に強かった是地名』
64	NPO法人三内丸山縄文発信の会	是川遺跡俯瞰	1	写真転載	10/7	『北の縄文文化回廊づくり推進協議会』HP
65	弘前学院大学地域総合文化研究所	是川中居遺跡 篋形木製品出土状況	1	写真貸与・掲載	10/12	研究所刊『縄文琴の研究』
66	SUS(株)	常設展示室使用アルミ展示什器	1	写真転載	10/12	自社2012年版カレンダー
67	(株)オダブリント	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	10/12	年賀状見本帳

No.	申請者名	資料名	点数	利用方法	許可	掲載先
68	㈱カラス・ファクトリー	常設展示 風張1遺跡土器群ほか	2	写真貸与・掲載	10/12	昭文社『MAPルマガジン青森2012』
69	社会福祉法人八戸市社会福祉協議会	是川縄文館外観ほか	2	写真貸与・掲載	10/14	講座チラシ『是川縄文探訪ツアー』
70	北海道新聞社函館支社	常設展示	1	写真撮影・掲載	10/14	是川縄文館紹介記事
71	白田 麻美	是川縄文館外観	1	写真貸与・掲載	10/19	リクルート刊『関東・東北じゃらん2月号』
72	(株)アドプリンター	風張1遺跡「合掌土偶」ほか	2	写真貸与・掲載	10/19	年賀状見本帳
73	斉藤 慶史	是川中居遺跡「ヤス・弓」出土状況ほか	3	写真貸与・掲載	10/14	東京日報社連載『あおり縄文紀行』
74	デーリー東北新聞社	是川縄文館内	1	写真撮影・掲載	10/16	是川縄文館紹介記事
75	八戸市観光課	常設展示	1	写真撮影・掲載	10/18	自遊人刊行雑誌『自遊人』
76	青森県総合社会教育センター	常設展示	1	写真撮影・掲載	10/19	情報誌『てのひら』申請者HP
77	コミュニティ放送局(株)ビーエフエム	常設展示	1	写真撮影・放送	10/20	番組『突撃! はちのへおジャマ隊』HP
78	凸版印刷(株)	風張1遺跡「合掌土偶」	2	写真貸与・上映	10/22	VR作品『DOGU縄文人が伝える日本のルーツ』
79	八戸印刷工業(株)	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	10/22	年賀状見本帳
80	(社)八戸建設業協会	風張1遺跡「合掌土偶」ほか	2	写真貸与・掲載	10/22	年賀状作成
81	赤間印刷工業(株)	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	10/22	年賀状見本帳
82	(株)丹青社	常設展示	1	写真撮影・掲載	10/26	(株)イエローツーカンパニーHP
83	(株)メディアシティ	是川縄文館内	1	写真撮影・掲載	10/26	申請者HP
84	青森県立郷土館	風張1遺跡「合掌土偶」ほか	3	写真転載	10/26	特別展『青森県博物館ロード』
85	八戸市立根城小学校 大向 隆志	風張1遺跡「合掌土偶」ほか	9	写真貸与・掲載	10/31	『第25回東北地区小学校道徳教育研究大会』資料
86	NPO法人国際縄文学会	風張1遺跡「合掌土偶」出土状況	7	写真貸与・掲載	10/31	冊子『JOMON』
87	(株)創童舎	風張1遺跡「合掌土偶」ほか	2	写真貸与・展示	10/31	JR仙台駅内観光案内パネル
88	青森県総合社会教育センター	常設展示 是川中居遺跡「漆塗り土器」ほか	2	写真貸与・掲載	11/4	情報誌『てのひら11月号』
89	八戸商工会議所	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	11/4	2012年版八戸観光カレンダー
90	(社)宮城県芸術協会	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	11/4	機関紙『はなやま190号』
91	(株)キーフレーム	常設展示	1	テレビ撮影・放送	11/8	番組放送
92	春日部市教育委員会	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	11/9	『春日部市史 庄和地域 原始・古代・中世・近世』
93	八戸市まちづくり文化推進室	是川縄文館内	1	DVD撮影	9/9	南郷アートプロジェクトDVD
94	(株)フェイス	是川縄文館外観	1	写真貸与・掲載	11/8	JR東日本旅どきねっとサイト
95	㈱オフィス・ファイブテン	常設展示 是川中居遺跡赤漆塗り土器群ほか	2	写真貸与・掲載	11/15	JTBパブリッシング刊『2012版ふるぶあおり』
96	前田建設工業(株)東北支店	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	11/15	イメージアップ用工事看板
97	滋賀県教育委員会文化財保護課	是川中居遺跡 遮光器土偶	1	写真貸与・掲載	11/17	ガイドブック『近江台地の遺産 縄文人の祈りと造形』
98	NPO法人三内丸山縄文発信の会	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	11/29	雑誌『縄文ファイル194号』
99	NPO法人ジョーモネスクジャパン	是川中居遺跡「赤漆塗り壺形土器」出土状況ほか	3	写真貸与・掲載	11/29	申請者HP
100	御所野縄文博物館	是川遺跡鳥獣	1	写真貸与・掲載	11/29	『北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群』講演会資料ほか
101	藤田 英夫	是川中居遺跡 岩板	1	写真貸与・掲載	11/30	申請者著『日本と世界の渦巻紋』
102	㈱ハユマ	是川中居遺跡 香炉形土器	1	写真貸与・掲載	11/30	小学館刊『地図・年表・図解でみる日本の歴史』
103	帆風美術館	重地遺跡出土 深鉢形土器	1	写真貸与・展示	11/30	特別展『描かれたフォルム』
104	寺澤測量建築設計事務所	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	12/2	土地家屋調査士会60周年記念会誌
105	NPO法人国際縄文学会	風張1遺跡「合掌土偶」 分解	1	写真転載	11/1	冊子『JOMON』
106	(株)NEXTEP	是川縄文館内	1	テレビ撮影・放送	12/15	BSフジ番組『発見! 日本の旅行ウォーク』
107	八戸市広報統計課	常設展示	1	テレビ撮影・放送	12/16	市政特別番組
108	東京大学大学院 設楽 博己	是川中居遺跡 赤漆塗り土器集合	1	写真貸与・掲載	12/21	申請者著『設楽博己考古遺物コレクション』
109	青森県自然保護課	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真貸与・上映	12/21	白神山地デジターセンター内大映像ソフト
110	八戸市観光課	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	12/20	外国人向け青森南部圏観光PRマップ
111	八戸市観光課	是川縄文館外観	1	写真貸与・掲載	12/21	岩手デザインーションキャンペーンエリア別ガイドブック
112	青森県観光交流推進課	風張1遺跡「合掌土偶」ほか	3	写真貸与・掲載	12/21	海外向け観光パンフレット
113	北海道開拓記念館	風張1遺跡「合掌土偶」ほか	2	写真貸与・展示	1/11	特別展『北の土偶 縄文の祈りと心』
114	(株)山川出版社	是川中居遺跡 赤漆塗り壺形土器	1	写真貸与・掲載	1/11	文部科学省検定教科書『高等学校日本史』
115	帆風美術館	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真転載・展示	1/11	特別展『描かれたフォルム』
116	北の縄文文化を発信する会	是川縄文館考古学講座	1	写真撮影	1/14	会の記録
117	竹田印刷(株)	是川縄文館外観ほか	2	写真貸与・掲載	1/17	JR東日本会員誌『大人の休日倶楽部第3月号』
118	(株)八戸テレビ	是川縄文館内	1	テレビ撮影・放送	1/17	ボランティア養成講座取材放送
119	朝日新聞社	是川中居遺跡 木胎漆器出土状況	1	写真貸与・掲載	1/20	朝日新聞全国版是川遺跡関連記事
120	八戸商工会議所	是川縄文館外観ほか	2	写真貸与・掲載	1/20	復興応援キャンペーン事業参加者募集新聞広告
121	春日部市教育委員会	是川中居遺跡 斧柄	1	写真貸与・掲載	1/25	『春日部市史 庄和地域 原始・古代・中世・近世』
122	桶川市教育委員会	是川中居遺跡 遮光器土偶	1	写真貸与・展示	1/27	特別展『後谷遺跡 縄文のタイムカプセル』
123	(株)創童舎	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真転載	2/1	JR東日本青森支店発行『青森2012春版』パンフレット
124	東京書籍(株)	是川中居遺跡 赤漆塗り壺形土器	1	写真貸与・掲載	2/1	高等学校用教科書『新選日本史B』
125	東京大学総合研究博物館	是川中居遺跡 ベンガラ入壺形土器ほか	8	写真貸与・展示	2/1	特別展『アルケオメトリア』
126	八戸市観光課	常設展示	1	テレビ撮影・放送	2/4	台湾テレビ局ニュース番組
127	八戸市産業振興課	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	2/7	日本経済新聞東北版八戸紹介記事
128	八戸市中学校社会科研究会	是川中居遺跡 木胎漆器出土状況ほか	3	写真貸与・掲載	2/9	副読本『わが郷土 八戸』
129	日本テレビ放送網(株)	是川中居遺跡 つる製品	1	写真貸与・放送	2/9	番組『鉄腕! DASH!!』
130	山本 光一	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真撮影・掲載	2/14	情報誌『しるばにあつる』
131	特別養護老人ホーム瑞光園	是川縄文館内	1	写真撮影・掲載	2/15	広報誌
132	(株)近代建築社	是川縄文館内	1	写真撮影・掲載	2/16	専門誌『近代建築』

No.	申請者名	資料名	点数	利用方法	許可	掲載先
133	八戸市広報統計課	是川縄文館常設展示室ほか	9	写真貸与・掲載	2/21	2012年版八戸市勢要覧英文ダイジェスト版
134	八戸市観光課	是川縄文館内	1	写真撮影・掲載	2/21	在京出版社雑誌掲載八戸紹介記事
135	青森県県民生活文化課	牛ヶ沢(4)遺跡 竪穴住居跡ほか	32	写真貸与・掲載	2/11	『青森県史資料編考古2 縄文後期・晩期』
136	Jane Oksbjerg	是川中居遺跡 甕形木製品	1	写真貸与・掲載	2/11	申請者著『Iconography of the Yayoi farmers (仮)』
137	(株)Z会	是川中居遺跡 遮光器土偶ほか	2	写真転載	2/21	学習用教材『エブリサタディアドバンスト小5社会6月号』ほか
138	教育出版(株)	是川中居遺跡 赤漆塗り注口土器	1	写真転載	2/21	平成24年度用中学校社会科歴史デジタル教科書
139	秋田県埋蔵文化財センター	是川中居遺跡 甕形漆器ほか	9	写真貸与・掲載	2/21	補助教材冊子『北の縄文文化とストーン・サークル』
140	産経新聞社	常設展示	1	写真撮影・掲載	2/22	是川縄文館関連記事
141	(株)スタジオ大島	是川縄文館内	1	写真撮影・掲載	2/22	卒業アルバム制作
142	草刈 朋子	常設展示 風張1遺跡土器群	1	写真撮影・掲載	3/1	『JOMON SPIRIT』HP
143	青森朝日放送(株)	是川縄文館内	1	テレビ撮影・放送	3/3	番組『りんご娘の産地直送☆青森最高』
144	秋田県埋蔵文化財センター	是川中居遺跡 樹皮製容器ほか	3	写真貸与・掲載	3/13	中学生向け冊子『北の縄文文化とストーン・サークル』
145	古戸 力	風張1遺跡「合掌土偶」出土状況	2	写真貸与・掲載	3/7	土偶・土器・東北名産の通販サイト『みちのくはあと』
146	写真工房おおすか	風張1遺跡「合掌土偶」ほか	10	写真貸与・使用	3/10	ポストカード製作
147	青森県都市計画課	風張1遺跡「合掌土偶」ほか	6	写真貸与・掲載	3/9	青森県縄文遺跡群の国営公園化要望資料
148	(株)サポート	是川縄文館外観ほか	4	写真貸与・掲載	3/13	JR東日本盛岡支社発行『駅から放策マップ』
149	八戸商工会議所	風張1遺跡「合掌土偶」	1	写真貸与・掲載	3/15	物産情報紙『made in hachinohe 八戸・特産品カタログ』
150	(株)デリー東北新聞社青森支社	是川中居遺跡 甕形木製品集合	1	写真貸与・掲載	3/19	鈴木克彦著『縄文琴の研究』に係る記事
151	青森放送(株)	是川中居遺跡 甕形木製品	1	テレビ撮影・放送	3/21	番組『ニュースレーダー』
152	坂口 隆	是川中居遺跡 注口土器	1	写真撮影・掲載	3/22	申請者執筆論文
153	八戸市博物館	是川中居遺跡赤染人骨出土状況	1	写真貸与・掲載	3/22	『博物館だより第44号』ほか
154	(株)八戸テレビ	是川縄文館内	1	テレビ撮影・放送	3/22	ボランティア養成講座取材放送
155	ひがしの菓子工房	是川中居遺跡 遮光器土偶	1	写真貸与・意匠使用	3/29	菓子包装紙の図案作成
156	青森県企画調整課	是川縄文館外観ほか	2	写真貸与・掲載	3/29	パンフレット『縄文遺跡アクセスガイド』

(2) 実物資料

平成23年度は6件の貸し出し依頼があり、計21点の収蔵資料を貸し出した。平成24年3月には国宝「合掌土偶」のほか、重要文化財1点を北海道開拓記念館へ貸し出している。

平成23年度資料貸出一覧

No.	申請者名	資料名	貸出期間	利用先
1	八戸市博物館	堀田遺跡「浅鉢形土器」 是川中居遺跡「甕形土器」	H23. 5. 25～5. 27	出前授業 『縄文文化と弥生文化、地域の歴史をしらべてみよう』用教材
2	岩手大学教育学部 考古学研究室	是川中居遺跡「磨製石斧」	H23. 6. 28～7. 28	3次元測定図及び美測図作成
3	八戸市美術館	苧麻繊維（標本資料） 編布（標本資料）	H23. 9. 17～11. 13	企画展 『染と織の美～印出コレクション～』
4	福島市教育委員会	風張1遺跡「合掌土偶」（複製品） 風張1遺跡「類杖土偶」（複製品） 是川中居遺跡「遮光器土偶」5点	H23. 10. 4～12. 28	特別展 『縄文人の祈りの世界』
5	青森県立郷土館	新井田古館遺跡「深鉢形土器」4点 漆塗り彩文樹皮製容器復元品	H23. 10. 24～H24. 2. 24	特別展 『青森県博物館ロード』
6	北海道開拓記念館	風張1遺跡「合掌土偶」（実物） 風張1遺跡「合掌土偶」・「類杖土偶」（複製品） 是川中居遺跡「土偶」2点（重要文化財1）	H24. 3. 3～3. 21 H24. 3. 3～5. 20 H24. 3. 3～4. 13	特別展 『北の土偶－縄文の祈りと心』

5. 予算概要

※予算は当初予算額。職員人件費は含まない。

予算内容	予算額 (円)	比率 (%)	備考
運営経費	86,060,000	82.93	
《内訳》 教育普及	10,145,000	9.78	
施設維持管理	51,816,000	49.93	
その他	24,099,000	23.22	
展示活動経費	17,725,000	17.07	
《内訳》 特別展経費	13,559,000	13.06	
企画展経費	4,166,000	4.01	
合計	103,785,000	100.00	

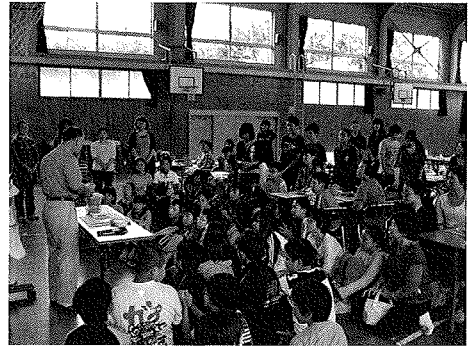
4. 縄文是川ボランティア

【設立年】平成8年 【会員数】59人

【目的・活動】

是川遺跡及びその出土品をはじめ縄文時代の調査・研究の成果を活用して、八戸市の縄文遺跡や縄文文化の素晴らしさを市民に伝え、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館の教育普及活動を支援することを目的とする。

当ボランティアではこうした目的のもと、1. 縄文時代の技術や文化を学ぶための体験学習の指導を行う、2. 是川縄文館の展示室や是川遺跡の案内、ガイドを行う、3. 体験学習の指導・ガイドを充実させるための研究、学習会を行う、のこれら3つの活動方針をもとに、下記の活動を行っている。



学校での体験学習の様子

- ①日曜日縄文体験コーナー ②夏休み縄文体験コーナー ③冬季日曜日縄文体験コーナー ④土曜日体験教室
- ⑤夏休み考古学教室での体験学習の指導 ⑥グループ・団体に対する体験学習の指導 ⑦学校・公民館等での体験学習の指導
- ⑧縄文土器野焼き ⑨是川縄文館本館・分館の展示室や是川遺跡のガイド ⑩研究・研修・学習会

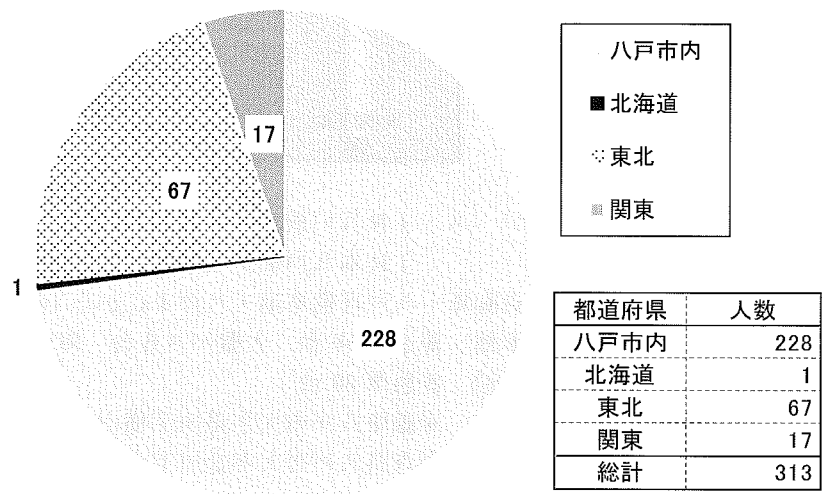
【活動実績】※体験学習指導の詳細については、I-4-(5)教育普及、III-1日記抄を参照されたい。

◆縄文是川ボランティア活動人数

月	開館日数	延人数	一日平均
4月	27日	152人	6人
5月	8日	130人	17人
計	35日	282人	8人
7月	20日	242人	13人
8月	27日	312人	12人
9月	27日	251人	10人
10月	27日	260人	10人
11月	26日	240人	10人
12月	23日	164人	8人
1月	23日	156人	7人
2月	26日	154人	6人
3月	28日	171人	7人
計	227日	1,950人	9人

◆縄文是川ボランティア展示解説 地方別利用状況(4月～5月)

※縄文是川ボランティアの聞き取りにより把握した利用者数



◆縄文是川ボランティア展示解説 地方別利用状況(平成23年7月～平成24年3月)

※縄文是川ボランティアの聞き取りにより把握した利用者数

